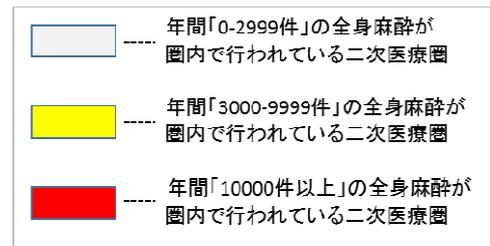
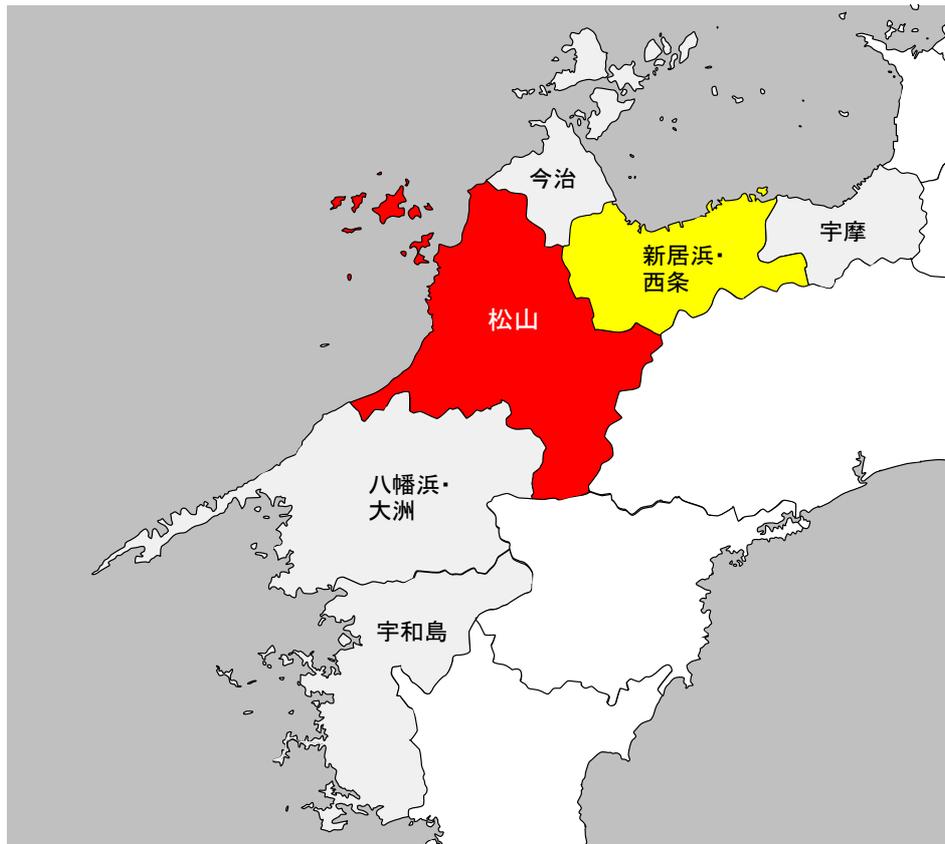


38. 愛媛県



目次

愛媛県	38	-	3
1. 宇摩医療圏	38	-	9
2. 新居浜・西条医療圏	38	-	15
3. 今治医療圏	38	-	21
4. 松山医療圏	38	-	27
5. 八幡浜・大洲医療圏	38	-	33
6. 宇和島医療圏	38	-	39

愛媛県

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は121,438人(-8%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は516人(17%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は261人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は27%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

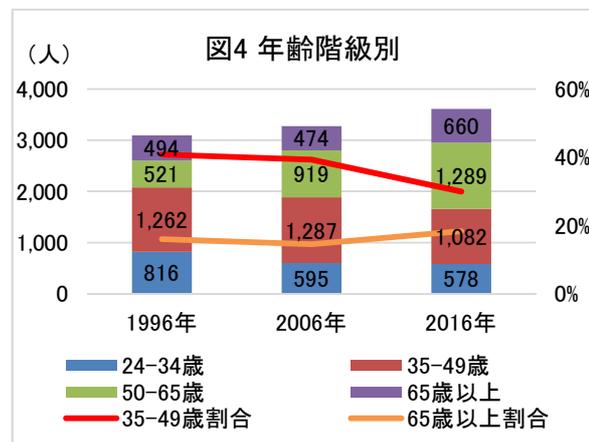
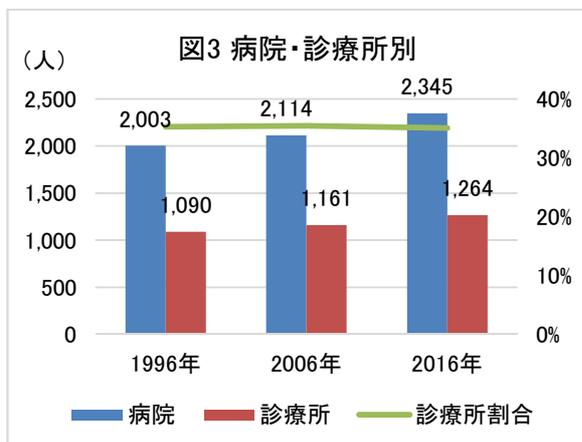
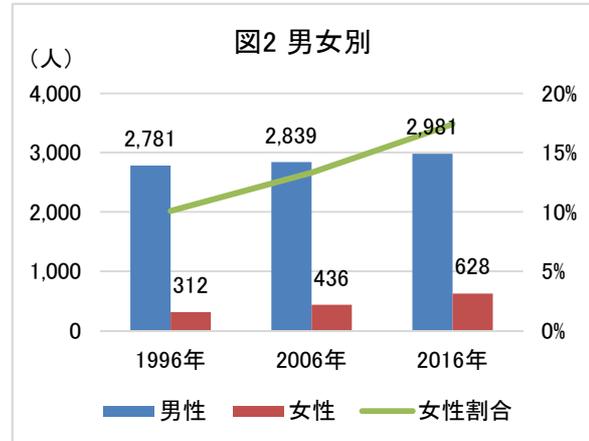
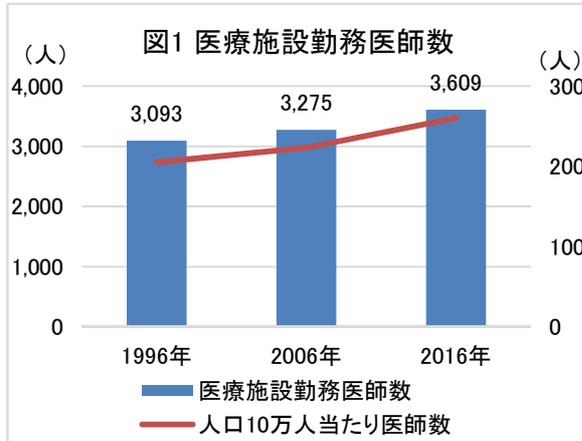
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて200人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に316人(101%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて342人(17%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に174人(16%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は180人(-14%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて166人(34%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年18%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

愛媛県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,506,700	1,467,815	1,385,262	-121,438	-8%	-38,885	-3%	-82,553	-6%	
総医師数	3,208	3,399	3,745	537	17%	191	6%	346	10%	
人口10万対	212.9	231.6	270.3	57.4	27%	18.7	9%	38.8	17%	
医療施設勤務医師数	3,093	3,275	3,609	516	17%	182	6%	334	10%	
人口10万対	205.3	223.1	260.5	55.2	27%	17.8	9%	37.4	17%	
男性医師数	2,781	2,839	2,981	200	7%	58	2%	142	5%	
人口10万対	184.6	193.4	215.2	30.6	17%	8.8	5%	21.8	11%	
女性医師数	312	436	628	316	101%	124	40%	192	44%	
人口10万対	20.7	29.7	45.3	24.6	119%	9.0	43%	15.6	53%	
病院勤務医師数	2,003	2,114	2,345	342	17%	111	6%	231	11%	
人口10万対	132.9	144.0	169.3	36.3	27%	11.1	8%	25.3	18%	
診療所勤務医師数	1,090	1,161	1,264	174	16%	71	7%	103	9%	
人口10万対	72.3	79.1	91.2	18.9	26%	6.8	9%	12.1	15%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.3	48.8	51.7	5.5	12%	2.5	5%	3.0	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	816	595	578	-238	-29%	-221	-27%	-17	-3%
	35-49歳	1,262	1,287	1,082	-180	-14%	25	2%	-205	-16%
	50-64歳	521	919	1,289	768	147%	398	76%	370	40%
	65歳以上	494	474	660	166	34%	-20	-4%	186	39%
	75歳以上(再掲)	128	218	244	116	91%	90	70%	26	12%
男性	24-34歳	673	416	382	-291	-43%	-257	-38%	-34	-8%
	35-49歳	1,154	1,121	821	-333	-29%	-33	-3%	-300	-27%
	50-64歳	497	846	1,155	658	132%	349	70%	309	37%
	65歳以上	457	456	623	166	36%	-1	0%	167	37%
	75歳以上(再掲)	111	208	239	128	115%	97	87%	31	15%
女性	24-34歳	143	179	196	53	37%	36	25%	17	9%
	35-49歳	108	166	261	153	142%	58	54%	95	57%
	50-64歳	24	73	134	110	458%	49	204%	61	84%
	65歳以上	37	18	37	0	0%	-19	-51%	19	106%
	75歳以上(再掲)	17	10	5	-12	-71%	-7	-41%	-5	-50%
病院	24-34歳	783	570	560	-223	-28%	-213	-27%	-10	-2%
	35-49歳	873	993	863	-10	-1%	120	14%	-130	-13%
	50-64歳	226	408	710	484	214%	182	81%	302	74%
	65歳以上	121	143	212	91	75%	22	18%	69	48%
	75歳以上(再掲)	36	51	73	37	103%	15	42%	22	43%
診療所	24-34歳	33	25	18	-15	-45%	-8	-24%	-7	-28%
	35-49歳	389	294	219	-170	-44%	-95	-24%	-75	-26%
	50-64歳	295	511	579	284	96%	216	73%	68	13%
	65歳以上	373	331	448	75	20%	-42	-11%	117	35%
	75歳以上(再掲)	92	167	171	79	86%	75	82%	4	2%
	85歳以上(再掲)	13	17	56	43	331%	4	31%	39	229%

愛媛県

＜医師数の推移＞

愛媛県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科であり、少ない診療科は、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、リハビリテーション科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	3,093	205.3	53	3,275	223.1	52	3,609	260.5	52	516	17%	55.2	27%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,219	80.9	52	1,234	84.1	52	1,319	95.2	52	100	8%	14.3	18%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	164	10.9	50	167	11.4	50	190	13.7	51	26	16%	2.8	26%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	135	9.0	52	140	9.5	50	141	10.2	46	6	4%	1.2	14%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	414	27.5	57	359	24.5	59	344	24.8	58	-70	-17%	-2.6	-10%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	5	0.3	48	8	0.5	50	7	0.5	48	2	40%	0.2	52%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	23	1.5	49	35	2.4	52	34	2.5	50	11	48%	0.9	61%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	93	6.2	57	95	6.5	57	102	7.4	56	9	10%	1.2	19%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	237	15.7	55	257	17.5	56	277	20.0	56	40	17%	4.3	27%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	16	1.1	50	23	1.6	51	31	2.2	51	15	94%	1.2	111%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	79	5.2	50	83	5.7	48	85	6.1	47	6	8%	0.9	17%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	128	8.5	49	151	10.3	51	159	11.5	53	31	24%	3.0	35%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	120	8.0	53	118	8.0	53	124	9.0	55	4	3%	1.0	12%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	96	6.4	60	114	7.8	63	111	8.0	60	15	16%	1.6	26%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	142	9.4	49	138	9.4	50	136	9.8	49	-6	-4%	0.4	4%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	7	0.5	47	17	1.2	48	38	2.7	55	31	443%	2.3	490%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	81	5.4	57	85	5.8	57	117	8.4	59	36	44%	3.1	57%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	74	4.9	53	70	4.8	50	91	6.6	49	17	23%	1.7	34%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				7	0.5	44	17	1.2	44	10	143%	0.8	157%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				124	8.4	47	181	13.1	50	181	46%	4.6	55%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	60	4.0	49	50	3.4	47	105	7.6	50	45	75%	3.6	90%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

愛媛県

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は243,799人(-18%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は347人(10%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は347人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

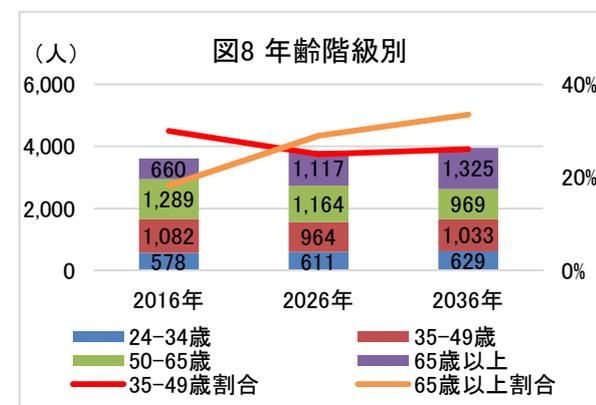
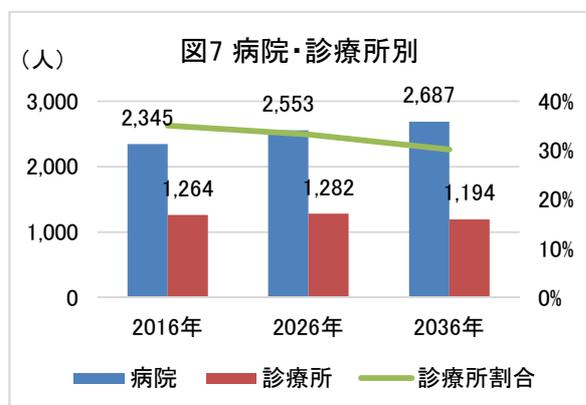
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて115人(-4%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に480人(76%)増え、全国平均(76%)と同程度の増加率である。2036年の女性医師割合は28%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて342人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に70人(-6%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は30%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は49人(-5%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて665人(101%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年33%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



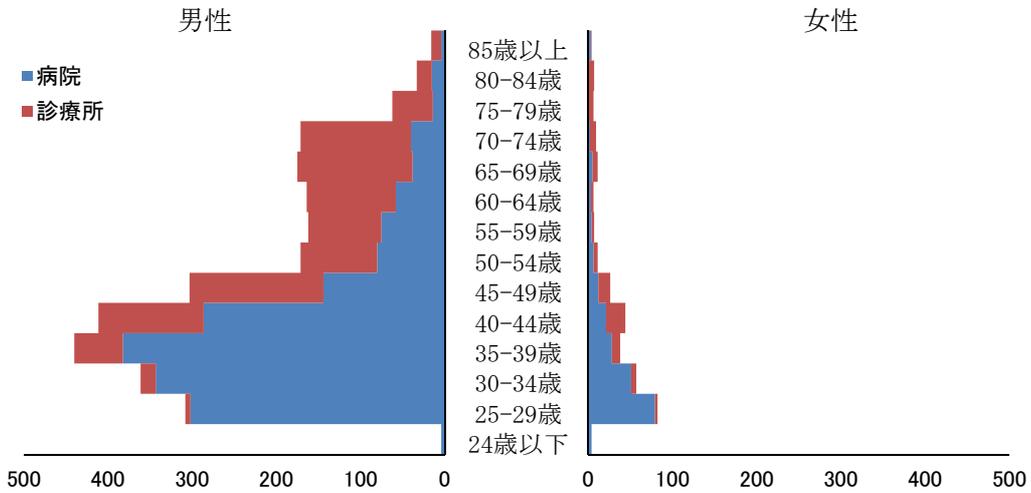
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

愛媛県

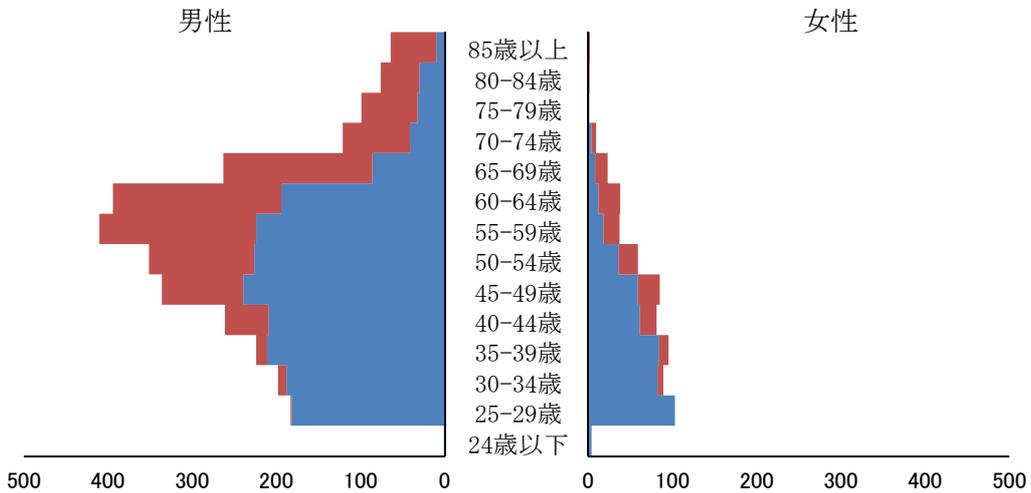
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

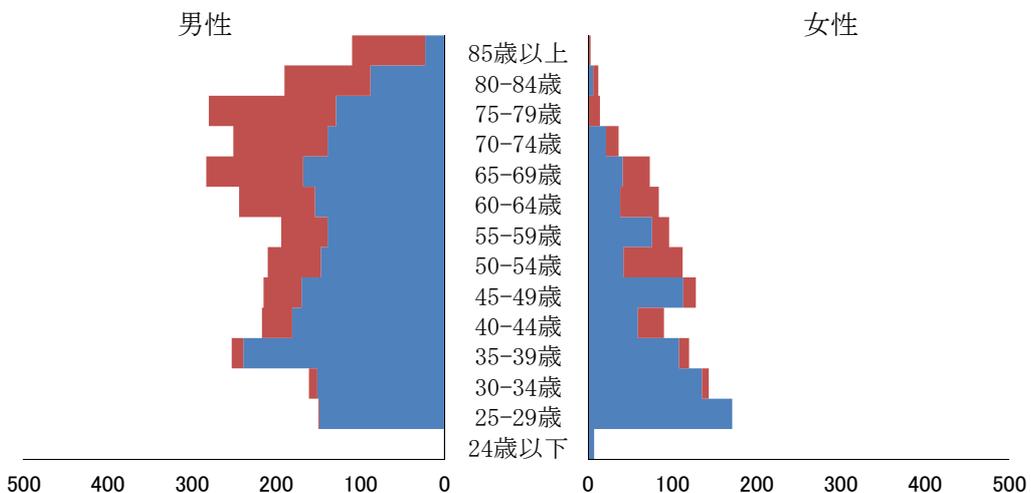
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

愛媛県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,385,262	1,269,451	1,141,463	-243,799	-18%	-115,811	-8%	-127,988	-10%	
医療施設勤務医師数	3,609	3,856	3,956	347	10%	247	7%	100	3%	
人口10万対	260.5	303.8	346.6	86.0	33%	43.2	17%	42.8	14%	
男性医師数	2,981	3,033	2,866	-115	-4%	52	2%	-167	-6%	
人口10万対	215.2	238.9	251.1	35.9	17%	23.7	11%	12.2	5%	
女性医師数	628	827	1,108	480	76%	199	32%	281	34%	
人口10万対	45.3	65.1	97.1	51.7	114%	19.8	44%	31.9	49%	
病院勤務医師数	2,345	2,553	2,687	342	15%	208	9%	134	5%	
人口10万対	169.3	201.1	235.4	66.1	39%	31.8	19%	34.3	17%	
診療所勤務医師数	1,264	1,282	1,194	-70	-6%	18	1%	-88	-7%	
人口10万対	91.2	101.0	104.6	13.4	15%	9.7	11%	3.6	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	578	611	629	51	9%	33	6%	18	3%
	35-49歳	1,082	964	1,033	-49	-5%	-118	-11%	69	7%
	50-64歳	1,289	1,164	969	-320	-25%	-125	-10%	-195	-17%
	65歳以上	660	1,117	1,325	665	101%	457	69%	208	19%
	75歳以上(再掲)	244	370	636	392	161%	126	52%	266	72%
男性	24-34歳	382	403	312	-70	-18%	21	5%	-91	-23%
	35-49歳	821	671	706	-115	-14%	-150	-18%	35	5%
	50-64歳	1,155	930	700	-455	-39%	-225	-19%	-230	-25%
	65歳以上	623	1,029	1,148	525	84%	406	65%	119	12%
	75歳以上(再掲)	239	350	592	353	148%	111	46%	242	69%
女性	24-34歳	196	206	321	125	64%	10	5%	115	56%
	35-49歳	261	305	341	80	31%	44	17%	36	12%
	50-64歳	134	239	291	157	117%	105	78%	52	22%
	65歳以上	37	77	155	118	319%	40	108%	78	101%
	75歳以上(再掲)	5	16	36	31	620%	11	220%	20	125%
病院	24-34歳	560	591	608	48	9%	31	6%	17	3%
	35-49歳	863	791	851	-12	-1%	-72	-8%	60	8%
	50-64歳	710	715	602	-108	-15%	5	1%	-113	-16%
	65歳以上	212	456	626	414	195%	244	115%	170	37%
	75歳以上(再掲)	73	106	248	175	240%	33	45%	142	134%
診療所	24-34歳	18	18	19	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	219	168	171	-48	-22%	-51	-23%	3	2%
	50-64歳	579	430	347	-232	-40%	-149	-26%	-83	-19%
	65歳以上	448	666	657	209	47%	218	49%	-9	-1%
	75歳以上(再掲)	171	268	371	200	117%	97	57%	103	38%
	85歳以上(再掲)	56	60	90	34	61%	4	7%	30	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇摩医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は8,245人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は8人(-5%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は166人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は4%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

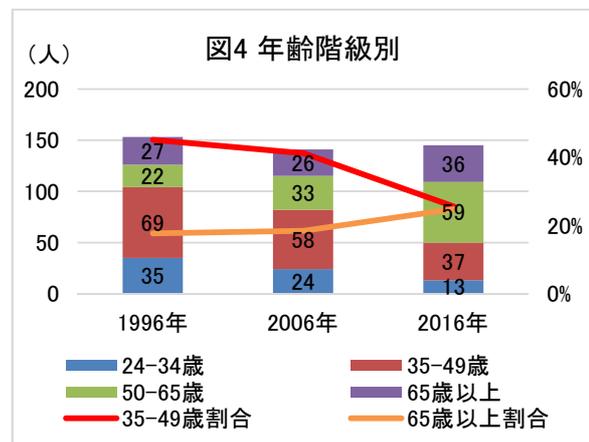
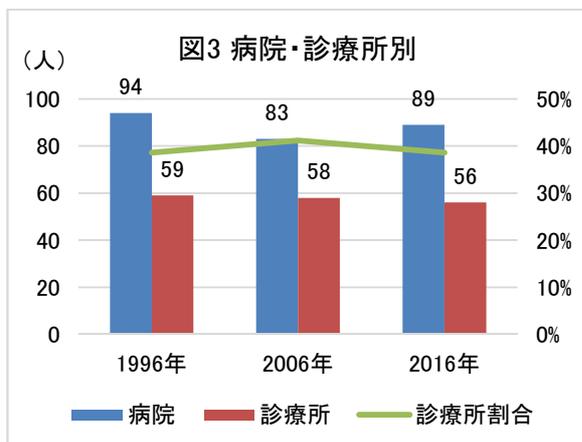
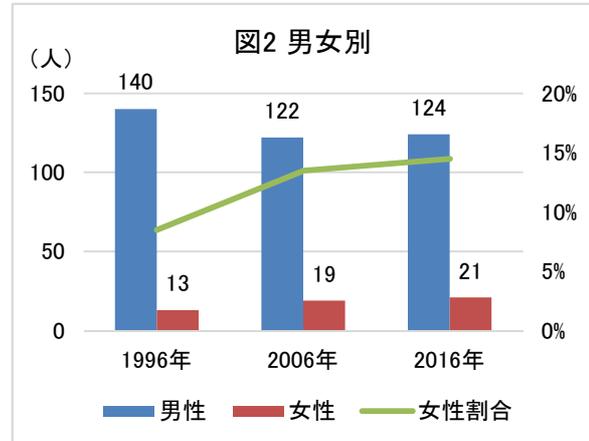
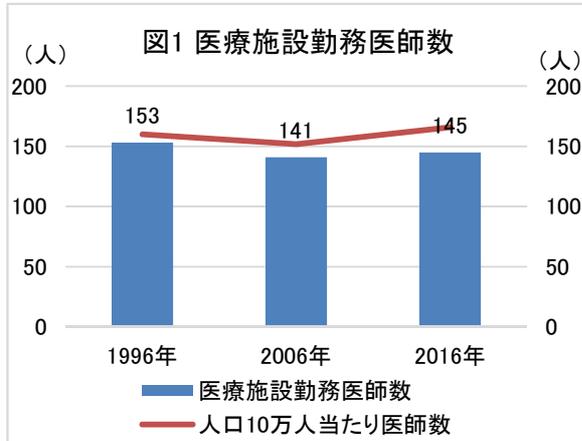
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて16人(-11%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に8人(62%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて5人(-5%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-5%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は39%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は32人(-46%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて9人(33%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年25%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

宇摩医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	95,658	92,854	87,413	-8,245	-9%	-2,804	-3%	-5,441	-6%	
総医師数	154	145	150	-4	-3%	-9	-6%	5	3%	
人口10万対	161.0	156.2	171.6	10.6	7%	-4.8	-3%	15.4	10%	
医療施設勤務医師数	153	141	145	-8	-5%	-12	-8%	4	3%	
人口10万対	159.9	151.9	165.9	5.9	4%	-8.1	-5%	14.0	9%	
男性医師数	140	122	124	-16	-11%	-18	-13%	2	2%	
人口10万対	146.4	131.4	141.9	-4.5	-3%	-15.0	-10%	10.5	8%	
女性医師数	13	19	21	8	62%	6	46%	2	11%	
人口10万対	13.6	20.5	24.0	10.4	77%	6.9	51%	3.6	17%	
病院勤務医師数	94	83	89	-5	-5%	-11	-12%	6	7%	
人口10万対	98.3	89.4	101.8	3.5	4%	-8.9	-9%	12.4	14%	
診療所勤務医師数	59	58	56	-3	-5%	-1	-2%	-2	-3%	
人口10万対	61.7	62.5	64.1	2.4	4%	0.8	1%	1.6	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.5	49.6	55.4	8.9	19%	3.1	7%	5.9	12%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	35	24	13	-22	-63%	-11	-31%	-11	-46%
	35-49歳	69	58	37	-32	-46%	-11	-16%	-21	-36%
	50-64歳	22	33	59	37	168%	11	50%	26	79%
	65歳以上	27	26	36	9	33%	-1	-4%	10	38%
	75歳以上(再掲)	6	10	13	7	117%	4	67%	3	30%
男性	24-34歳	29	19	11	-18	-62%	-10	-34%	-8	-42%
	35-49歳	65	46	27	-38	-58%	-19	-29%	-19	-41%
	50-64歳	20	31	52	32	160%	11	55%	21	68%
	65歳以上	26	26	34	8	31%	0	0%	8	31%
	75歳以上(再掲)	6	10	13	7	117%	4	67%	3	30%
女性	24-34歳	6	5	2	-4	-67%	-1	-17%	-3	-60%
	35-49歳	4	12	10	6	150%	8	200%	-2	-17%
	50-64歳	2	2	7	5	250%	0	0%	5	250%
	65歳以上	1	0	2	1	100%	-1	-100%	2	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	32	23	13	-19	-59%	-9	-28%	-10	-43%
	35-49歳	47	39	27	-20	-43%	-8	-17%	-12	-31%
	50-64歳	7	13	33	26	371%	6	86%	20	154%
	65歳以上	8	8	16	8	100%	0	0%	8	100%
	75歳以上(再掲)	1	1	5	4	400%	0	0%	4	400%
診療所	24-34歳	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
	35-49歳	22	19	10	-12	-55%	-3	-14%	-9	-47%
	50-64歳	15	20	26	11	73%	5	33%	6	30%
	65歳以上	19	18	20	1	5%	-1	-5%	2	11%
	75歳以上(再掲)	5	9	8	3	60%	4	80%	-1	-11%
	85歳以上(再掲)	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%

宇摩医療圏

＜医師数の推移＞

宇摩医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児外科、整形外科、形成外科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	153	159.9	47	141	151.9	43	145	165.9	42	-8	-5%	5.9	4%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	61	63.8	47	57	61.4	44	58	66.4	43	-3	-5%	2.6	4%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	7.3	42	11	11.8	51	6	6.9	38	-1	-14%	-0.5	-6%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	7.3	48	4	4.3	38	6	6.9	40	-1	-14%	-0.5	-6%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	26	27.2	57	17	18.3	50	13	14.9	44	-13	-50%	-12.3	-45%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	1.0	60	0	0.0	41	1	1.1	58	0	0%	0.1	9%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	3.1	45	3	3.2	43	2	2.3	37	-1	-33%	-0.8	-27%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	12	12.5	49	14	15.1	51	17	19.4	55	5	42%	6.9	55%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	1.1	47	4	4.6	66	4	0%	4.6	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	4.2	46	3	3.2	41	2	2.3	37	-2	-50%	-1.9	-45%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	6	6.3	45	7	7.5	45	7	8.0	44	1	17%	1.7	28%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	4.2	42	4	4.3	42	2	2.3	34	-2	-50%	-1.9	-45%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	5	5.2	55	6	6.5	57	3	3.4	42	-2	-40%	-1.8	-34%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	6.3	42	6	6.5	43	8	9.2	47	2	33%	2.9	46%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	1.0	54	2	2.2	56	1	1.1	45	0	0%	0.1	9%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	4.2	53	2	2.2	44	4	4.6	48	0	0%	0.4	9%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	3.1	47	1	1.1	39	1	1.1	36	-2	-67%	-2.0	-64%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				1	1.1	38	3	3.4	40	3	200%	2.4	219%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	3.1	47	2	2.2	44	7	8.0	51	4	133%	4.9	155%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

宇摩医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は16,325人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は増減なしと推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は204人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は23%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

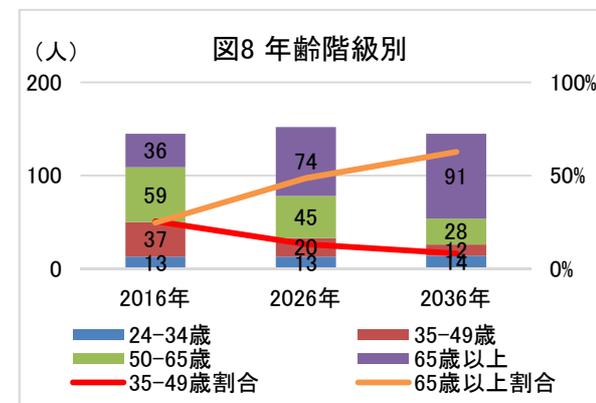
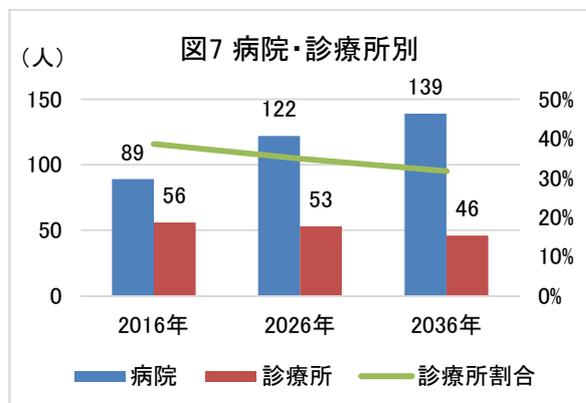
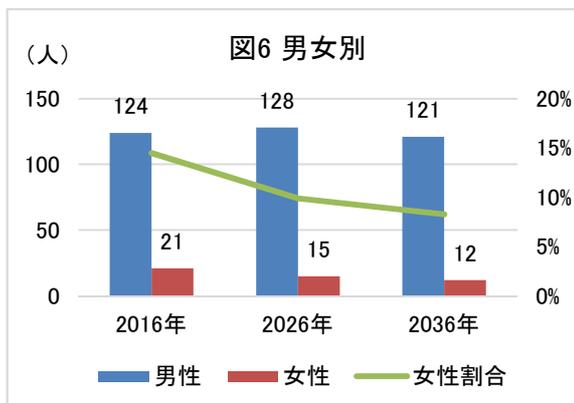
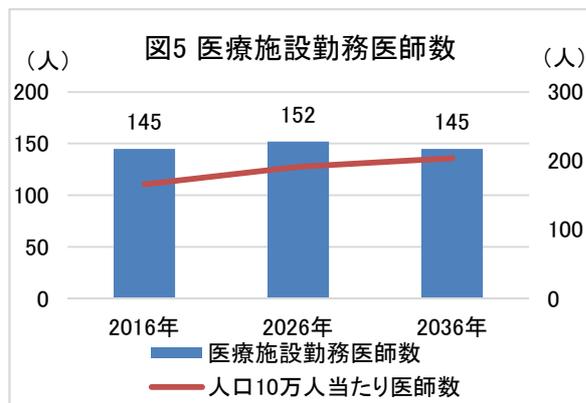
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて3人(-2%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に9人(-43%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は8%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて50人(56%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に10人(-18%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は32%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は25人(-68%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて55人(153%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年25%、2036年63%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



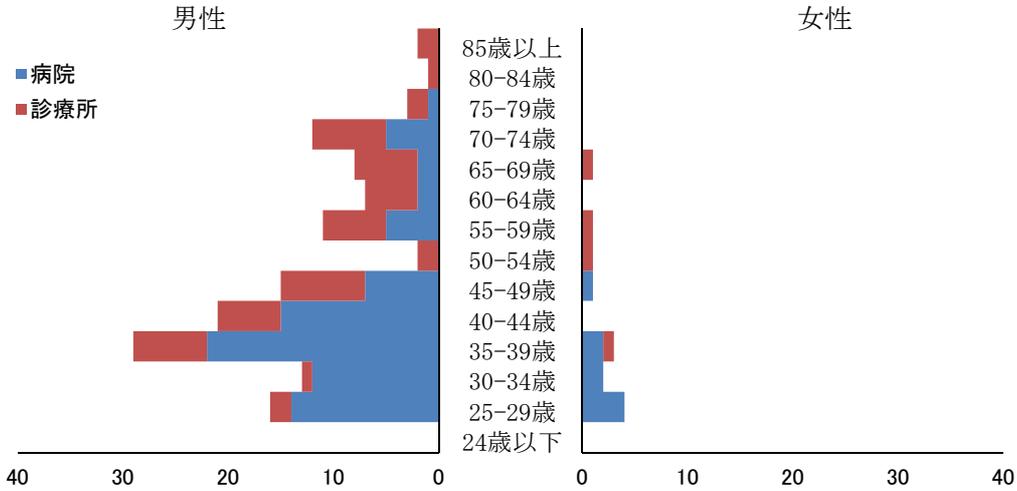
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇摩医療圏

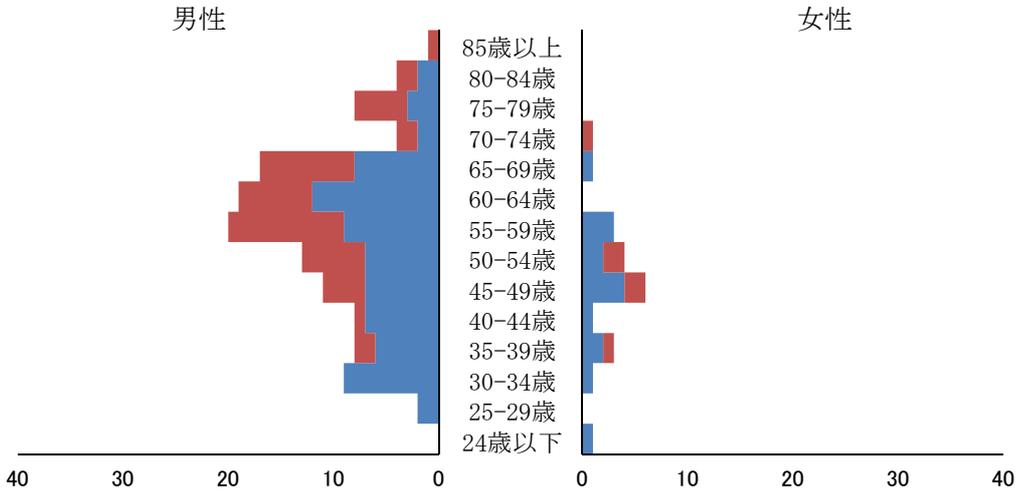
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

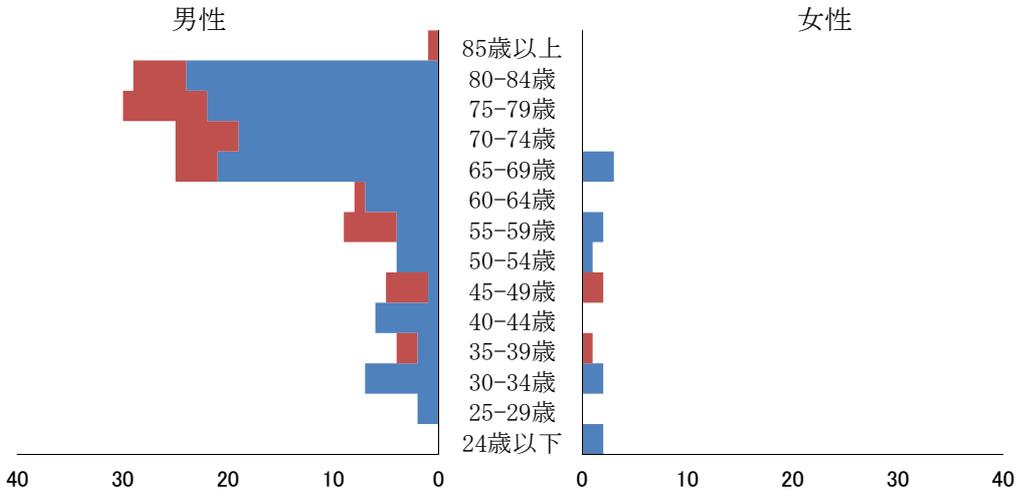
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇摩医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	87,413	79,432	71,088	-16,325	-19%	-7,981	-9%	-8,344	-11%	
医療施設勤務医師数	145	152	145	0	0%	7	5%	-7	-5%	
人口10万対	165.9	191.4	204.0	38.1	23%	25.5	15%	12.6	7%	
男性医師数	124	128	121	-3	-2%	4	3%	-7	-5%	
人口10万対	141.9	161.1	170.2	28.4	20%	19.3	14%	9.1	6%	
女性医師数	21	15	12	-9	-43%	-6	-29%	-3	-20%	
人口10万対	24.0	18.9	16.9	-7.1	-30%	-5.1	-21%	-2.0	-11%	
病院勤務医師数	89	122	139	50	56%	33	37%	17	14%	
人口10万対	101.8	153.6	195.5	93.7	92%	51.8	51%	41.9	27%	
診療所勤務医師数	56	53	46	-10	-18%	-3	-5%	-7	-13%	
人口10万対	64.1	66.7	64.7	0.6	1%	2.7	4%	-2.0	-3%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	13	13	14	1	8%	0	0%	1	8%
	35-49歳	37	20	12	-25	-68%	-17	-46%	-8	-40%
	50-64歳	59	45	28	-31	-53%	-14	-24%	-17	-38%
	65歳以上	36	74	91	55	153%	38	106%	17	23%
	75歳以上(再掲)	13	18	44	31	238%	5	38%	26	144%
男性	24-34歳	11	11	9	-2	-18%	0	0%	-2	-18%
	35-49歳	27	16	10	-17	-63%	-11	-41%	-6	-38%
	50-64歳	52	32	23	-29	-56%	-20	-38%	-9	-28%
	65歳以上	34	69	79	45	132%	35	103%	10	14%
	75歳以上(再掲)	13	16	43	30	231%	3	23%	27	169%
女性	24-34歳	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	35-49歳	10	4	0	-10	-100%	-6	-60%	-4	-100%
	50-64歳	7	6	3	-4	-57%	-1	-14%	-3	-50%
	65歳以上	2	3	5	3	150%	1	50%	2	67%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	13	13	14	1	8%	0	0%	1	8%
	35-49歳	27	15	10	-17	-63%	-12	-44%	-5	-33%
	50-64歳	33	27	20	-13	-39%	-6	-18%	-7	-26%
	65歳以上	16	67	95	79	494%	51	319%	28	42%
	75歳以上(再掲)	5	7	46	41	820%	2	40%	39	557%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	10	9	9	-1	-10%	-1	-10%	0	0%
	50-64歳	26	16	8	-18	-69%	-10	-38%	-8	-50%
	65歳以上	20	28	29	9	45%	8	40%	1	4%
	75歳以上(再掲)	8	11	14	6	75%	3	38%	3	27%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

新居浜・西条医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は14,865人(-6%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は56人(-11%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は196人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は-5%減り、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

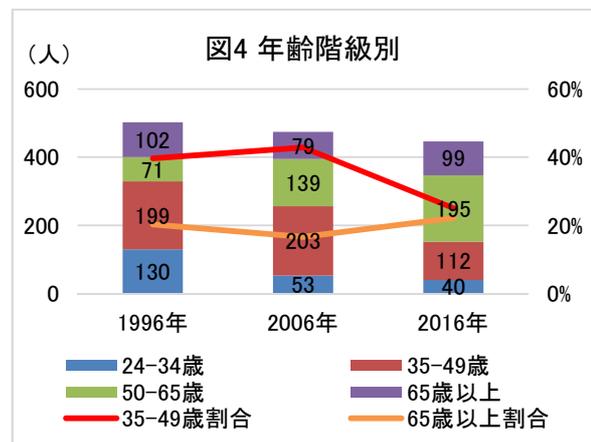
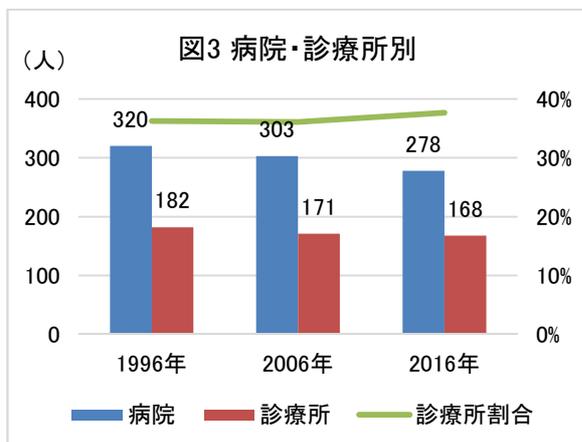
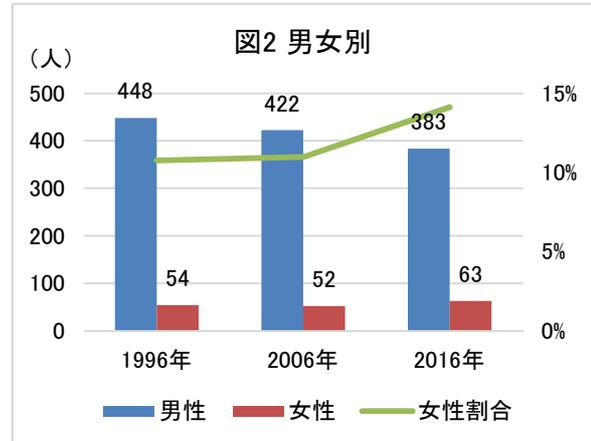
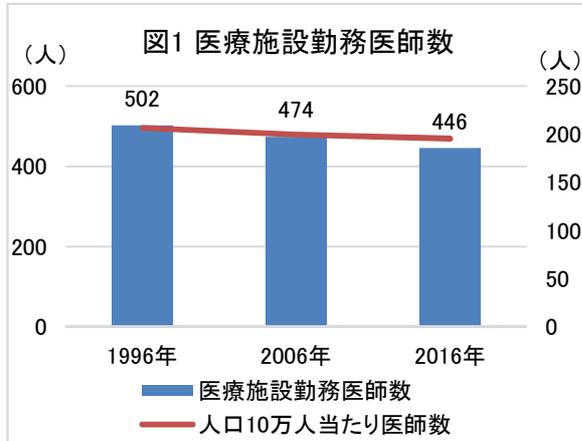
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて65人(-15%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に9人(17%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて42人(-13%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に14人(-8%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は87人(-44%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(-3%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

新居浜・西条医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	242,942	237,323	228,077	-14,865	-6%	-5,619	-2%	-9,246	-4%	
総医師数	512	481	462	-50	-10%	-31	-6%	-19	-4%	
人口10万対	210.7	202.7	202.6	-8.2	-4%	-8.1	-4%	-0.1	0%	
医療施設勤務医師数	502	474	446	-56	-11%	-28	-6%	-28	-6%	
人口10万対	206.6	199.7	195.5	-11.1	-5%	-6.9	-3%	-4.2	-2%	
男性医師数	448	422	383	-65	-15%	-26	-6%	-39	-9%	
人口10万対	184.4	177.8	167.9	-16.5	-9%	-6.6	-4%	-9.9	-6%	
女性医師数	54	52	63	9	17%	-2	-4%	11	21%	
人口10万対	22.2	21.9	27.6	5.4	24%	-0.3	-1%	5.7	26%	
病院勤務医師数	320	303	278	-42	-13%	-17	-5%	-25	-8%	
人口10万対	131.7	127.7	121.9	-9.8	-7%	-4.0	-3%	-5.8	-5%	
診療所勤務医師数	182	171	168	-14	-8%	-11	-6%	-3	-2%	
人口10万対	74.9	72.1	73.7	-1.3	-2%	-2.9	-4%	1.6	2%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.1	50.8	55.3	8.2	17%	3.6	8%	4.6	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	130	53	40	-90	-69%	-77	-59%	-13	-25%
	35-49歳	199	203	112	-87	-44%	4	2%	-91	-45%
	50-64歳	71	139	195	124	175%	68	96%	56	40%
	65歳以上	102	79	99	-3	-3%	-23	-23%	20	25%
	75歳以上(再掲)	19	48	38	19	100%	29	153%	-10	-21%
男性	24-34歳	102	39	31	-71	-70%	-63	-62%	-8	-21%
	35-49歳	184	179	85	-99	-54%	-5	-3%	-94	-53%
	50-64歳	70	129	172	102	146%	59	84%	43	33%
	65歳以上	92	75	95	3	3%	-17	-18%	20	27%
	75歳以上(再掲)	16	44	37	21	131%	28	175%	-7	-16%
女性	24-34歳	28	14	9	-19	-68%	-14	-50%	-5	-36%
	35-49歳	15	24	27	12	80%	9	60%	3	13%
	50-64歳	1	10	23	22	2200%	9	900%	13	130%
	65歳以上	10	4	4	-6	-60%	-6	-60%	0	0%
	75歳以上(再掲)	3	4	1	-2	-67%	1	33%	-3	-75%
病院	24-34歳	127	50	40	-87	-69%	-77	-61%	-10	-20%
	35-49歳	149	163	91	-58	-39%	14	9%	-72	-44%
	50-64歳	24	70	120	96	400%	46	192%	50	71%
	65歳以上	20	20	27	7	35%	0	0%	7	35%
	75歳以上(再掲)	4	13	5	1	25%	9	225%	-8	-62%
診療所	24-34歳	3	3	0	-3	-100%	0	0%	-3	-100%
	35-49歳	50	40	21	-29	-58%	-10	-20%	-19	-48%
	50-64歳	47	69	75	28	60%	22	47%	6	9%
	65歳以上	82	59	72	-10	-12%	-23	-28%	13	22%
	75歳以上(再掲)	15	35	33	18	120%	20	133%	-2	-6%
	85歳以上(再掲)	1	5	17	16	1600%	4	400%	12	240%

新居浜・西条医療圏

＜医師数の推移＞

新居浜・西条医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、耳鼻咽喉科であり、少ない診療科は、内科(総数)、精神科、小児外科、皮膚科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、脳神経外科、皮膚科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、形成外科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	502	206.6	53	474	199.7	49	446	195.5	45	-56	-11%	-11.1	-5%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	212	87.3	54	193	81.3	51	152	66.6	43	-60	-28%	-20.6	-24%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	28	11.5	51	20	8.4	43	26	11.4	46	-2	-7%	-0.1	-1%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	22	9.1	53	27	11.4	54	21	9.2	44	-1	-5%	0.2	2%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	72	29.6	60	61	25.7	61	51	22.4	55	-21	-29%	-7.3	-25%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.4	42	4	1.7	48	5	2.2	48	4	400%	1.8	433%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	15	6.2	57	14	5.9	54	14	6.1	51	-1	-7%	-0.0	-1%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	35	14.4	53	41	17.3	55	39	17.1	51	4	11%	2.7	19%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.8	48	3	1.3	48	4	1.8	48	2	100%	0.9	113%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	10	4.1	46	7	2.9	40	9	3.9	41	-1	-10%	-0.2	-4%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	16	6.6	45	18	7.6	45	22	9.6	48	6	38%	3.1	46%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	21	8.6	55	17	7.2	51	21	9.2	56	0	0%	0.6	7%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	13	5.4	55	15	6.3	57	14	6.1	52	1	8%	0.8	15%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	20	8.2	46	20	8.4	48	17	7.5	44	-3	-15%	-0.8	-9%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	3	1.2	57	4	1.7	52	2	0.9	43	-1	-33%	-0.4	-29%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	14	5.8	58	12	5.1	54	14	6.1	53	0	0%	0.4	7%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	10	4.1	50	5	2.1	42	10	4.4	44	0	0%	0.3	7%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	2	0.9	42	2	0	0.9	0.9
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				4	1.7	39	5	2.2	38	5	25%	0.5	30%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	8	3.3	47	9	3.8	47	18	7.9	51	10	125%	4.6	140%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

新居浜・西条医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は34,855人(-15%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は81人(-18%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は189人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-3%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

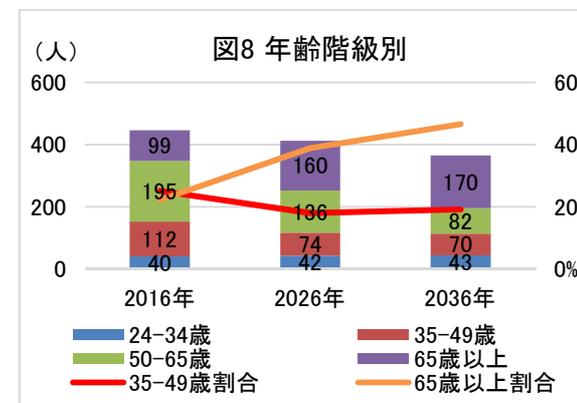
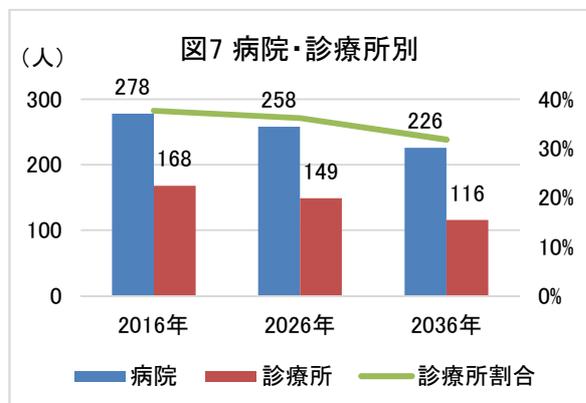
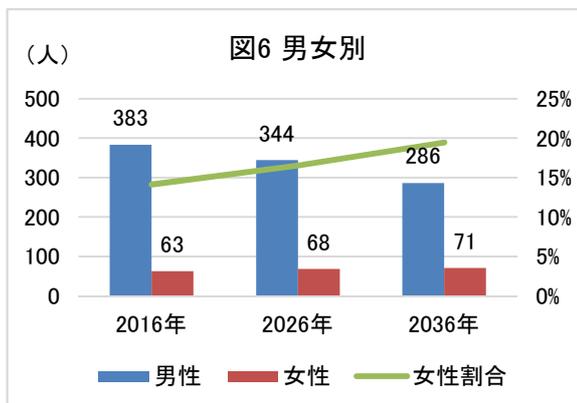
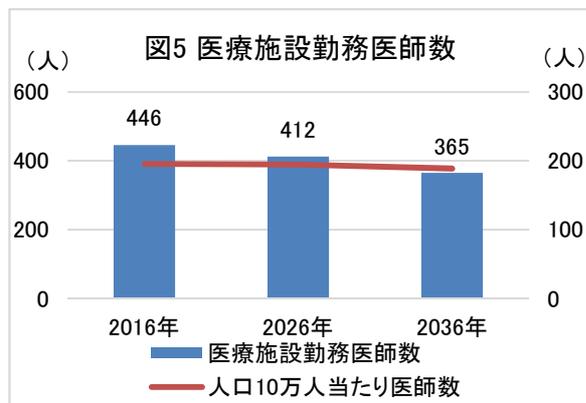
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて97人(-25%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に8人(13%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は19%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて52人(-19%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に52人(-31%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は32%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は42人(-38%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて71人(72%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年47%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



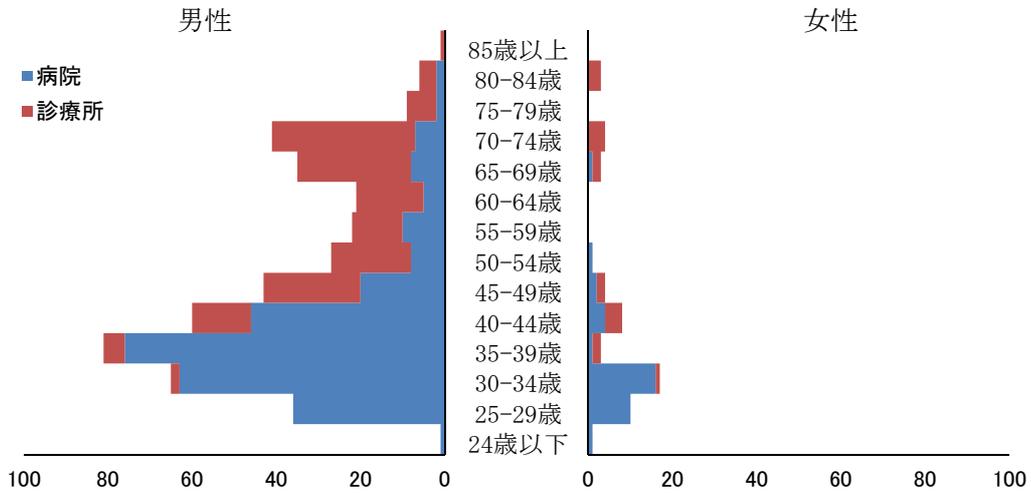
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

新居浜・西条医療圏

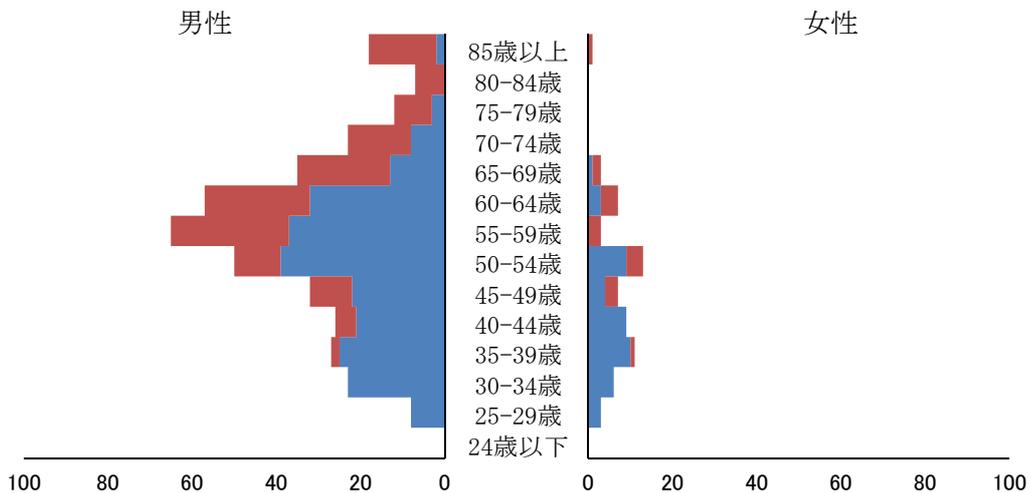
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

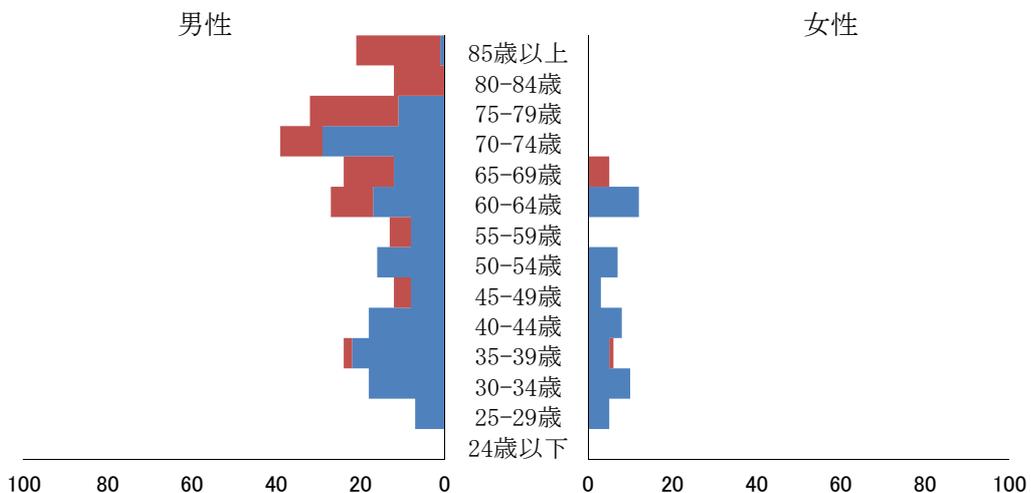
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

新居浜・西条医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	228,077	211,721	193,222	-34,855	-15%	-16,356	-7%	-18,499	-9%	
医療施設勤務医師数	446	412	365	-81	-18%	-34	-8%	-47	-11%	
人口10万対	195.5	194.6	188.9	-6.6	-3%	-1.0	0%	-5.7	-3%	
男性医師数	383	344	286	-97	-25%	-39	-10%	-58	-17%	
人口10万対	167.9	162.5	148.0	-19.9	-12%	-5.4	-3%	-14.5	-9%	
女性医師数	63	68	71	8	13%	5	8%	3	4%	
人口10万対	27.6	32.1	36.7	9.1	33%	4.5	16%	4.6	14%	
病院勤務医師数	278	258	226	-52	-19%	-20	-7%	-32	-12%	
人口10万対	121.9	121.9	117.0	-4.9	-4%	-0.0	0%	-4.9	-4%	
診療所勤務医師数	168	149	116	-52	-31%	-19	-11%	-33	-22%	
人口10万対	73.7	70.4	60.0	-13.6	-18%	-3.3	-4%	-10.3	-15%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	40	42	43	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	112	74	70	-42	-38%	-38	-34%	-4	-5%
	50-64歳	195	136	82	-113	-58%	-59	-30%	-54	-40%
	65歳以上	99	160	170	71	72%	61	62%	10	6%
	75歳以上(再掲)	38	52	86	48	126%	14	37%	34	65%
男性	24-34歳	31	33	26	-5	-16%	2	6%	-7	-21%
	35-49歳	85	55	53	-32	-38%	-30	-35%	-2	-4%
	50-64歳	172	106	60	-112	-65%	-66	-38%	-46	-43%
	65歳以上	95	150	147	52	55%	55	58%	-3	-2%
	75歳以上(再掲)	37	50	81	44	119%	13	35%	31	62%
女性	24-34歳	9	9	15	6	67%	0	0%	6	67%
	35-49歳	27	23	18	-9	-33%	-4	-15%	-5	-22%
	50-64歳	23	34	30	7	30%	11	48%	-4	-12%
	65歳以上	4	2	8	4	100%	-2	-50%	6	300%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	40	42	43	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	91	64	62	-29	-32%	-27	-30%	-2	-3%
	50-64歳	120	93	59	-61	-51%	-27	-23%	-34	-37%
	65歳以上	27	59	62	35	130%	32	119%	3	5%
	75歳以上(再掲)	5	8	12	7	140%	3	60%	4	50%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	21	11	11	-10	-48%	-10	-48%	0	0%
	50-64歳	75	40	18	-57	-76%	-35	-47%	-22	-55%
	65歳以上	72	98	87	15	21%	26	36%	-11	-11%
	75歳以上(再掲)	33	43	58	25	76%	10	30%	15	35%
	85歳以上(再掲)	17	16	21	4	24%	-1	-6%	5	31%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

今治医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は29,566人(-15%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は7人(-2%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は188人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は15%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

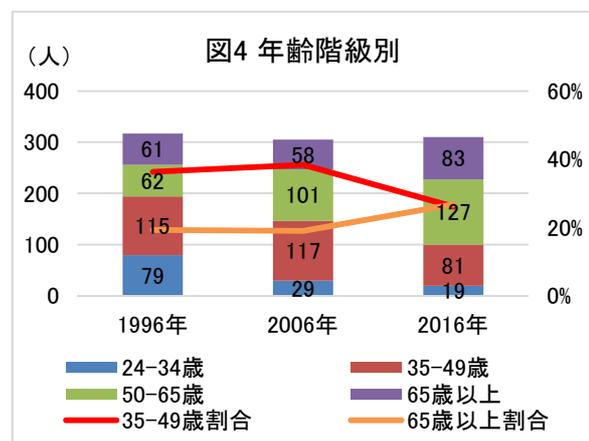
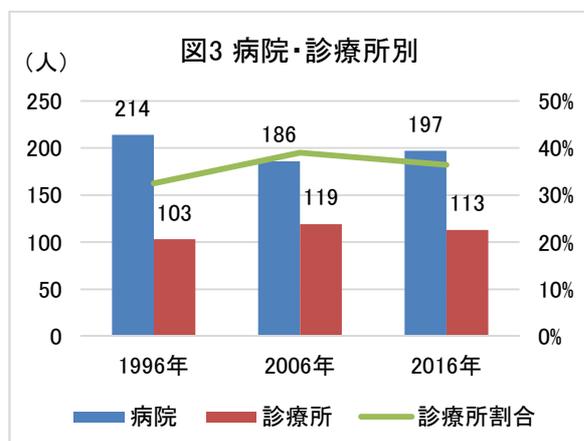
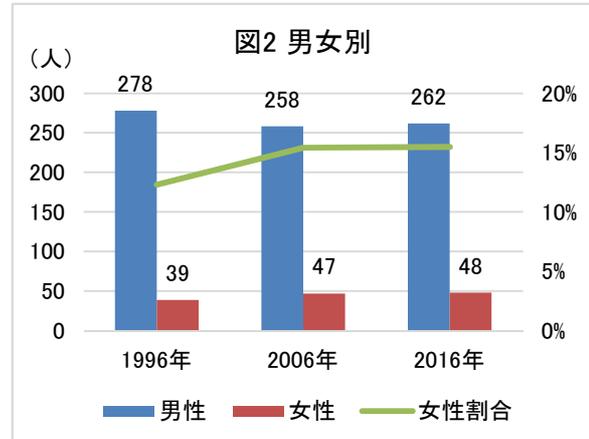
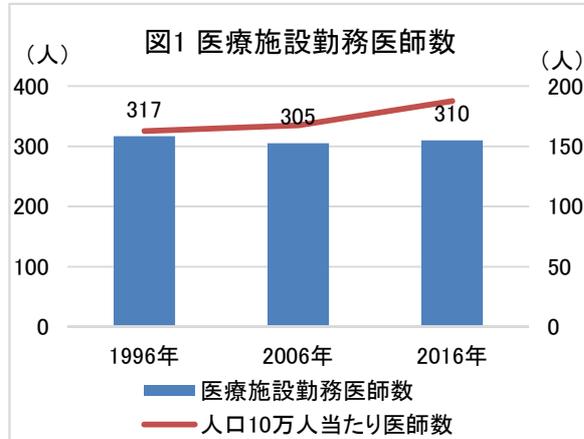
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて16人(-6%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に9人(23%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて17人(-8%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に10人(10%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は36%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は34人(-30%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて22人(36%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

今治医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	194,815	182,081	165,249	-29,566	-15%	-12,734	-7%	-16,832	-9%	
総医師数	326	319	322	-4	-1%	-7	-2%	3	1%	
人口10万対	167.3	175.2	194.9	27.5	16%	7.9	5%	19.7	11%	
医療施設勤務医師数	317	305	310	-7	-2%	-12	-4%	5	2%	
人口10万対	162.7	167.5	187.6	24.9	15%	4.8	3%	20.1	12%	
男性医師数	278	258	262	-16	-6%	-20	-7%	4	2%	
人口10万対	142.7	141.7	158.5	15.8	11%	-1.0	-1%	16.9	12%	
女性医師数	39	47	48	9	23%	8	21%	1	2%	
人口10万対	20.0	25.8	29.0	9.0	45%	5.8	29%	3.2	13%	
病院勤務医師数	214	186	197	-17	-8%	-28	-13%	11	6%	
人口10万対	109.8	102.2	119.2	9.4	9%	-7.7	-7%	17.1	17%	
診療所勤務医師数	103	119	113	10	10%	16	16%	-6	-5%	
人口10万対	52.9	65.4	68.4	15.5	29%	12.5	24%	3.0	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.7	51.9	57.2	9.5	20%	4.2	9%	5.3	10%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	79	29	19	-60	-76%	-50	-63%	-10	-34%
	35-49歳	115	117	81	-34	-30%	2	2%	-36	-31%
	50-64歳	62	101	127	65	105%	39	63%	26	26%
	65歳以上	61	58	83	22	36%	-3	-5%	25	43%
	75歳以上(再掲)	13	22	32	19	146%	9	69%	10	45%
男性	24-34歳	64	19	15	-49	-77%	-45	-70%	-4	-21%
	35-49歳	99	97	62	-37	-37%	-2	-2%	-35	-36%
	50-64歳	58	86	106	48	83%	28	48%	20	23%
	65歳以上	57	56	79	22	39%	-1	-2%	23	41%
	75歳以上(再掲)	11	22	32	21	191%	11	100%	10	45%
女性	24-34歳	15	10	4	-11	-73%	-5	-33%	-6	-60%
	35-49歳	16	20	19	3	19%	4	25%	-1	-5%
	50-64歳	4	15	21	17	425%	11	275%	6	40%
	65歳以上	4	2	4	0	0%	-2	-50%	2	100%
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
病院	24-34歳	78	26	19	-59	-76%	-52	-67%	-7	-27%
	35-49歳	78	90	58	-20	-26%	12	15%	-32	-36%
	50-64歳	34	45	75	41	121%	11	32%	30	67%
	65歳以上	24	25	45	21	88%	1	4%	20	80%
	75歳以上(再掲)	7	6	18	11	157%	-1	-14%	12	200%
診療所	24-34歳	1	3	0	-1	-100%	2	200%	-3	-100%
	35-49歳	37	27	23	-14	-38%	-10	-27%	-4	-15%
	50-64歳	28	56	52	24	86%	28	100%	-4	-7%
	65歳以上	37	33	38	1	3%	-4	-11%	5	15%
	75歳以上(再掲)	6	16	14	8	133%	10	167%	-2	-13%
	85歳以上(再掲)	0	0	4	4		0		4	

今治医療圏

<医師数の推移>

今治医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、精神科、小児外科、形成外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	317	162.7	47	305	167.5	45	310	187.6	44	-7	-2%	24.9	15%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	128	65.7	47	118	64.8	45	126	76.2	46	-2	-2%	10.5	16%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	16	8.2	44	20	11.0	49	18	10.9	46	2	13%	2.7	33%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	10	5.1	43	9	4.9	39	6	3.6	34	-4	-40%	-1.5	-29%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	51	26.2	56	35	19.2	52	37	22.4	55	-14	-27%	-3.8	-14%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	1.0	46	7	3.8	61	3	1.8	46	1	50%	0.8	77%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	2.6	42	9	4.9	50	11	6.7	53	6	120%	4.1	159%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	25	12.8	49	22	12.1	44	27	16.3	49	2	8%	3.5	27%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.5	45	1	0.5	43	1	0.6	41	0	0%	0.1	18%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	7	3.6	45	8	4.4	45	12	7.3	50	5	71%	3.7	102%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	17	8.7	50	15	8.2	47	15	9.1	47	-2	-12%	0.4	4%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	11	5.6	46	11	6.0	47	9	5.4	44	-2	-18%	-0.2	-4%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	10	5.1	54	12	6.6	58	9	5.4	50	-1	-10%	0.3	6%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	12	6.2	41	13	7.1	45	8	4.8	38	-4	-33%	-1.3	-21%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.5	47	0	0.0	38	0	0.0	37	-1	-100%	-0.5	-100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	11	5.6	58	10	5.5	56	11	6.7	54	0	0%	1.0	18%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	6	3.1	47	6	3.3	45	6	3.6	42	0	0%	0.6	18%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				4	2.2	39	6	3.6	40	6	50%	1.4	65%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	4	2.1	45	5	2.7	45	5	3.0	42	1	25%	1.0	47%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

今治医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は38,080人(-23%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は47人(-15%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は207人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は10%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

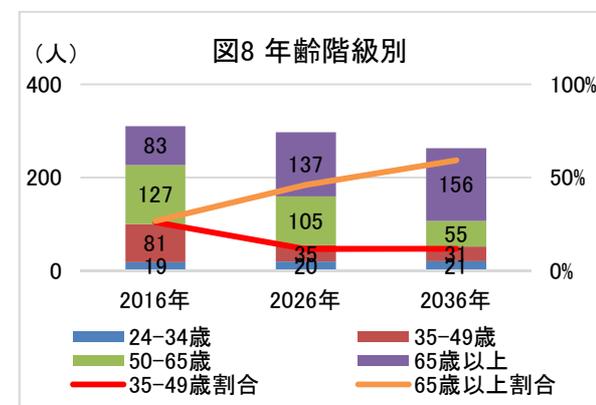
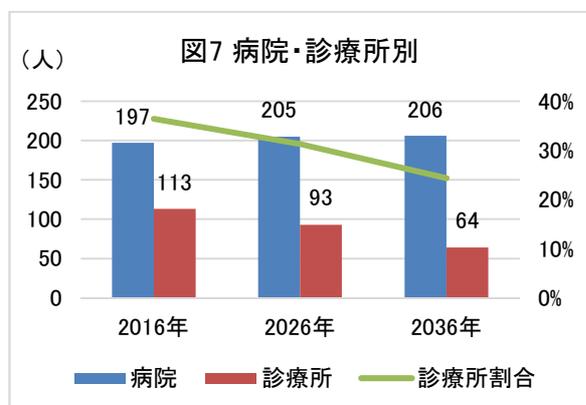
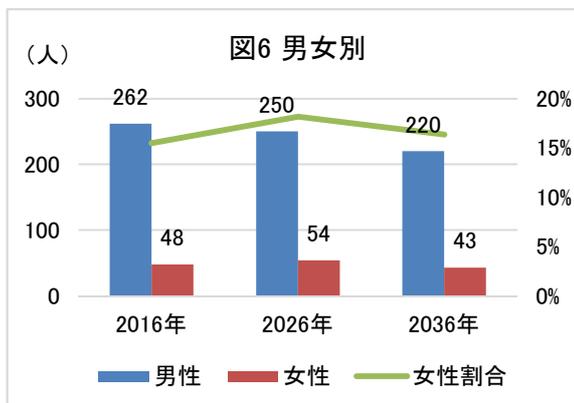
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて42人(-16%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(-10%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は16%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて9人(5%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に49人(-43%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は50人(-62%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて73人(88%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年59%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



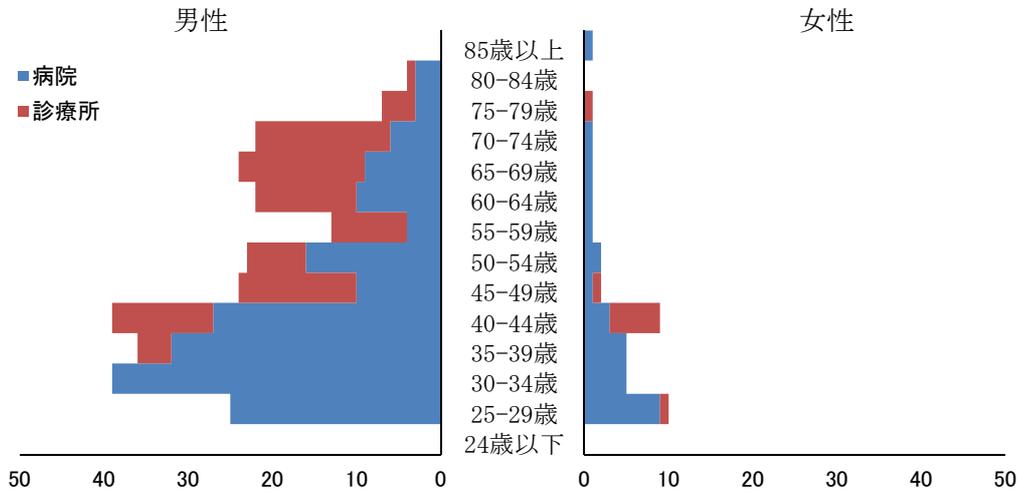
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

今治医療圏

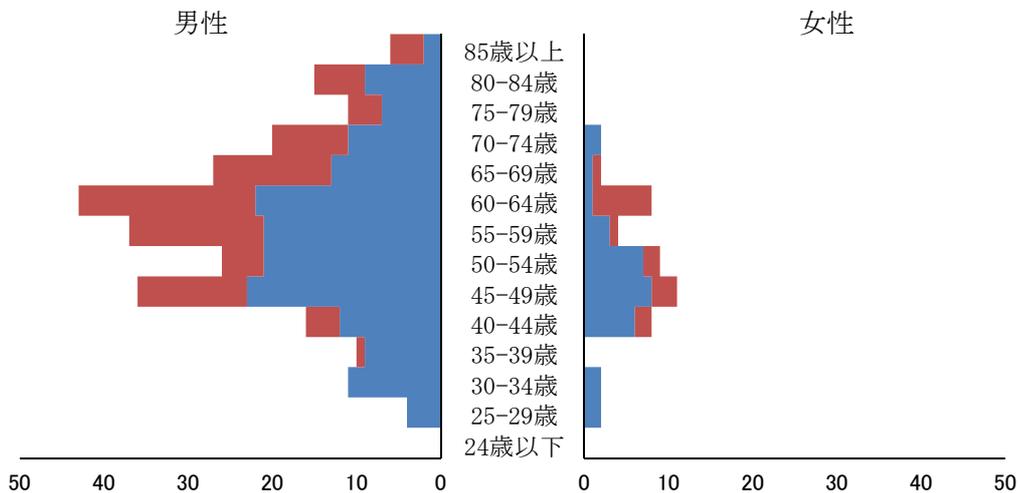
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

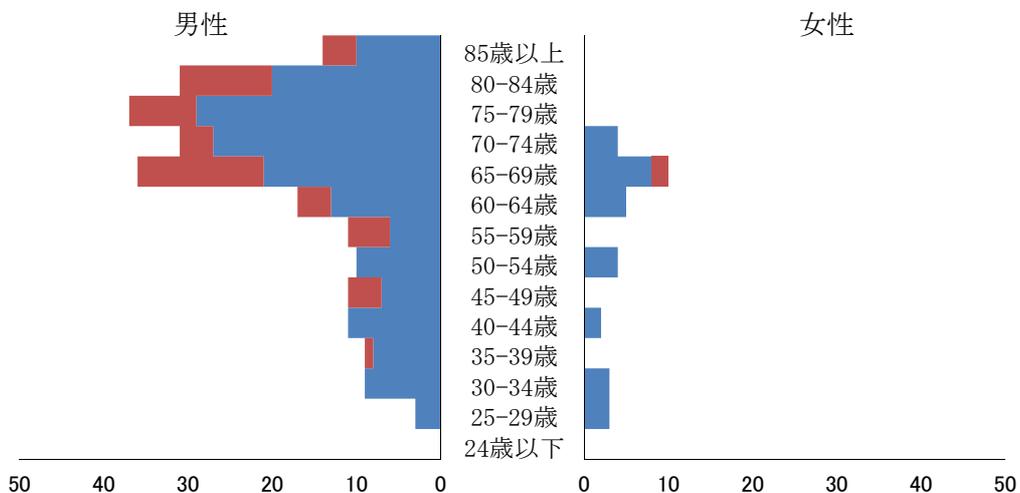
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

今治医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	165,249	146,927	127,169	-38,080	-23%	-18,322	-11%	-19,758	-13%	
医療施設勤務医師数	310	297	263	-47	-15%	-13	-4%	-34	-11%	
人口10万対	187.6	202.1	206.8	19.2	10%	14.5	8%	4.7	2%	
男性医師数	262	250	220	-42	-16%	-12	-5%	-30	-12%	
人口10万対	158.5	170.2	173.0	14.4	9%	11.6	7%	2.8	2%	
女性医師数	48	54	43	-5	-10%	6	13%	-11	-20%	
人口10万対	29.0	36.8	33.8	4.8	16%	7.7	27%	-2.9	-8%	
病院勤務医師数	197	205	206	9	5%	8	4%	1	0%	
人口10万対	119.2	139.5	162.0	42.8	36%	20.3	17%	22.5	16%	
診療所勤務医師数	113	93	64	-49	-43%	-20	-18%	-29	-31%	
人口10万対	68.4	63.3	50.3	-18.1	-26%	-5.1	-7%	-13.0	-20%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	19	20	21	2	11%	1	5%	1	5%
	35-49歳	81	35	31	-50	-62%	-46	-57%	-4	-11%
	50-64歳	127	105	55	-72	-57%	-22	-17%	-50	-48%
	65歳以上	83	137	156	73	88%	54	65%	19	14%
	75歳以上(再掲)	32	46	78	46	144%	14	44%	32	70%
男性	24-34歳	15	15	12	-3	-20%	0	0%	-3	-20%
	35-49歳	62	34	32	-30	-48%	-28	-45%	-2	-6%
	50-64歳	106	75	40	-66	-62%	-31	-29%	-35	-47%
	65歳以上	79	126	136	57	72%	47	59%	10	8%
	75歳以上(再掲)	32	45	74	42	131%	13	41%	29	64%
女性	24-34歳	4	4	6	2	50%	0	0%	2	50%
	35-49歳	19	3	3	-16	-84%	-16	-84%	0	0%
	50-64歳	21	36	20	-1	-5%	15	71%	-16	-44%
	65歳以上	4	11	14	10	250%	7	175%	3	27%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	19	20	21	2	11%	1	5%	1	5%
	35-49歳	58	28	27	-31	-53%	-30	-52%	-1	-4%
	50-64歳	75	75	41	-34	-45%	0	0%	-34	-45%
	65歳以上	45	82	117	72	160%	37	82%	35	43%
	75歳以上(再掲)	18	29	55	37	206%	11	61%	26	90%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	23	3	3	-20	-87%	-20	-87%	0	0%
	50-64歳	52	33	11	-41	-79%	-19	-37%	-22	-67%
	65歳以上	38	57	50	12	32%	19	50%	-7	-12%
	75歳以上(再掲)	14	18	27	13	93%	4	29%	9	50%
	85歳以上(再掲)	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

松山医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は10,138人(2%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は626人(40%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は337人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は38%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

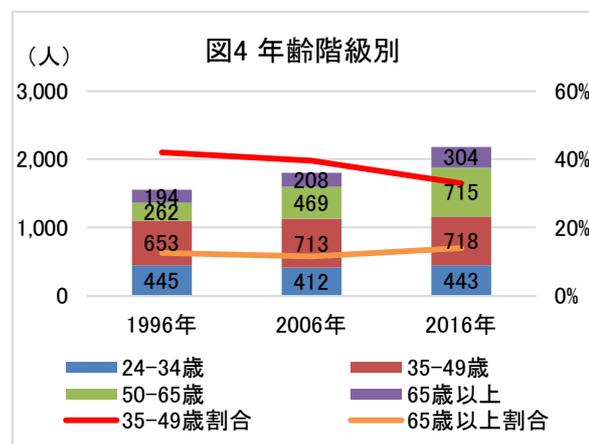
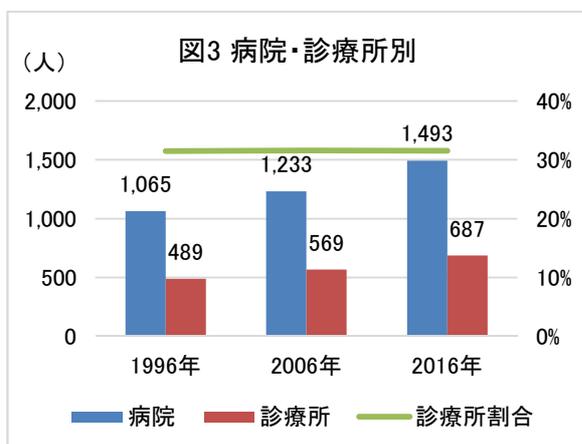
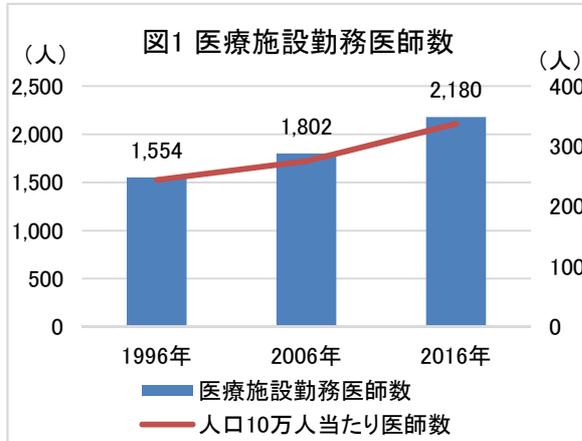
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて350人(25%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に276人(166%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は20%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて428人(40%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に198人(40%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は65人(10%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて110人(57%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年12%、2016年14%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

松山医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	635,917	653,642	646,055	10,138	2%	17,725	3%	-7,587	-1%	
総医師数	1,635	1,880	2,264	629	38%	245	15%	384	20%	
人口10万対	257.1	287.6	350.4	93.3	36%	30.5	12%	62.8	22%	
医療施設勤務医師数	1,554	1,802	2,180	626	40%	248	16%	378	21%	
人口10万対	244.4	275.7	337.4	93.1	38%	31.3	13%	61.7	22%	
男性医師数	1,388	1,528	1,738	350	25%	140	10%	210	14%	
人口10万対	218.3	233.8	269.0	50.7	23%	15.5	7%	35.3	15%	
女性医師数	166	274	442	276	166%	108	65%	168	61%	
人口10万対	26.1	41.9	68.4	42.3	162%	15.8	61%	26.5	63%	
病院勤務医師数	1,065	1,233	1,493	428	40%	168	16%	260	21%	
人口10万対	167.5	188.6	231.1	63.6	38%	21.2	13%	42.5	23%	
診療所勤務医師数	489	569	687	198	40%	80	16%	118	21%	
人口10万対	76.9	87.1	106.3	29.4	38%	10.2	13%	19.3	22%	
医療施設勤務医 平均年齢	44.9	46.8	49.1	4.2	9%	1.9	4%	2.3	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	445	412	443	-2	0%	-33	-7%	31	8%
	35-49歳	653	713	718	65	10%	60	9%	5	1%
	50-64歳	262	469	715	453	173%	207	79%	246	52%
	65歳以上	194	208	304	110	57%	14	7%	96	46%
	75歳以上(再掲)	50	89	110	60	120%	39	78%	21	24%
男性	24-34歳	364	277	278	-86	-24%	-87	-24%	1	0%
	35-49歳	595	621	532	-63	-11%	26	4%	-89	-14%
	50-64歳	248	432	646	398	160%	184	74%	214	50%
	65歳以上	181	198	282	101	56%	17	9%	84	42%
	75歳以上(再掲)	44	84	106	62	141%	40	91%	22	26%
女性	24-34歳	81	135	165	84	104%	54	67%	30	22%
	35-49歳	58	92	186	128	221%	34	59%	94	102%
	50-64歳	14	37	69	55	393%	23	164%	32	86%
	65歳以上	13	10	22	9	69%	-3	-23%	12	120%
	75歳以上(再掲)	6	5	4	-2	-33%	-1	-17%	-1	-20%
病院	24-34歳	429	401	431	2	0%	-28	-7%	30	7%
	35-49歳	459	554	582	123	27%	95	21%	28	5%
	50-64歳	120	217	397	277	231%	97	81%	180	83%
	65歳以上	57	61	83	26	46%	4	7%	22	36%
	75歳以上(再掲)	20	22	30	10	50%	2	10%	8	36%
診療所	24-34歳	16	11	12	-4	-25%	-5	-31%	1	9%
	35-49歳	194	159	136	-58	-30%	-35	-18%	-23	-14%
	50-64歳	142	252	318	176	124%	110	77%	66	26%
	65歳以上	137	147	221	84	61%	10	7%	74	50%
	75歳以上(再掲)	30	67	80	50	167%	37	123%	13	19%
	85歳以上(再掲)	4	7	20	16	400%	3	75%	13	186%

松山医療圏

＜医師数の推移＞

松山医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床研修医であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科はない。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,554	244.4	57	1,802	275.7	59	2,180	337.4	61	626	40%	93.1	38%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	567	89.2	54	631	96.5	56	764	118.3	59	197	35%	29.1	33%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	90	14.2	57	88	13.5	54	113	17.5	58	23	26%	3.3	24%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	72	11.3	58	70	10.7	52	82	12.7	51	10	14%	1.4	12%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	185	29.1	59	176	26.9	63	190	29.4	64	5	3%	0.3	1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	4	0.6	53	8	1.2	62	6	0.9	54	2	50%	0.3	48%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	17	2.7	57	22	3.4	58	24	3.7	57	7	41%	1.0	39%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	54	8.5	66	54	8.3	64	62	9.6	65	8	15%	1.1	13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	111	17.5	59	128	19.6	60	139	21.5	59	28	25%	4.1	23%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	13	2.0	59	17	2.6	58	21	3.3	58	8	62%	1.2	59%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	46	7.2	55	51	7.8	55	50	7.7	52	4	9%	0.5	7%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	67	10.5	54	88	13.5	59	94	14.5	60	27	40%	4.0	38%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	69	10.9	61	72	11.0	63	75	11.6	64	6	9%	0.8	7%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	49	7.7	66	60	9.2	69	62	9.6	66	13	27%	1.9	25%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	80	12.6	56	80	12.2	58	85	13.2	56	5	6%	0.6	5%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.3	45	10	1.5	51	31	4.8	68	29	1450%	4.5	1426%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	47	7.4	63	53	8.1	64	80	12.4	70	33	70%	5.0	68%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	47	7.4	60	50	7.6	58	64	9.9	56	17	36%	2.5	34%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				7	1.1	48	15	2.3	49	8	114%	1.3	117%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				106	16.2	56	156	24.1	62	156	47%	7.9	49%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	34	5.3	52	31	4.7	49	67	10.4	55	33	97%	5.0	94%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

松山医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は79,987人(-12%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は562人(26%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は484人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は44%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

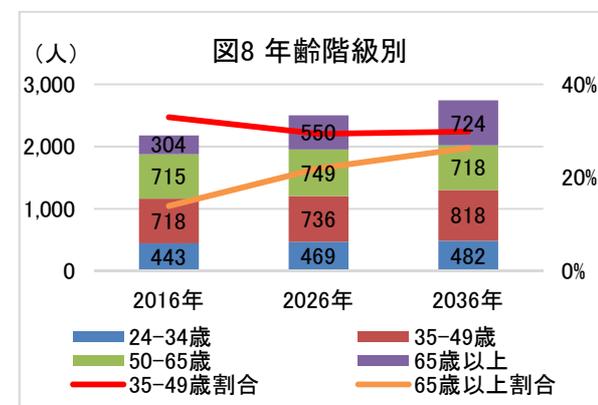
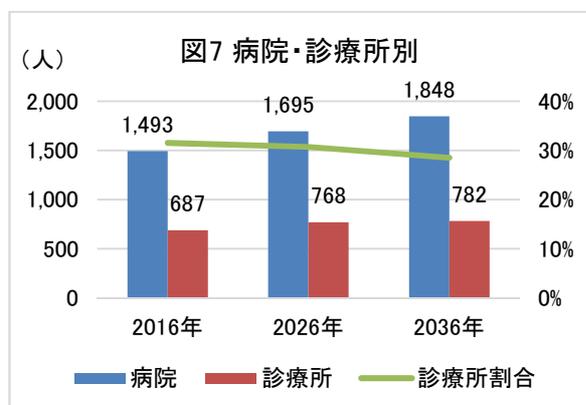
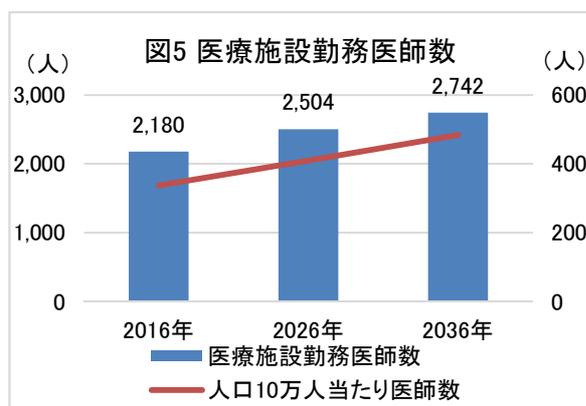
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて132人(8%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に473人(107%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は33%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて355人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に95人(14%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は29%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は100人(14%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて420人(138%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年14%、2036年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



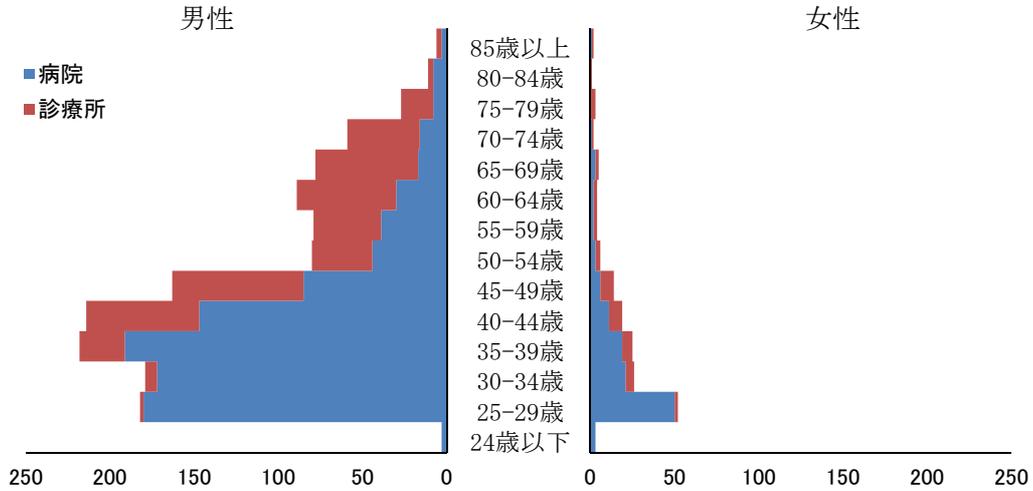
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

松山医療圏

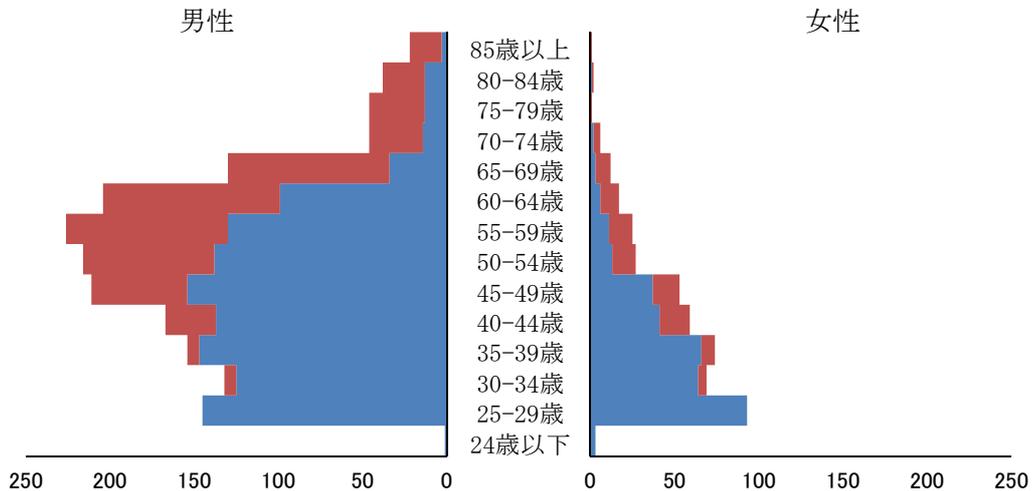
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

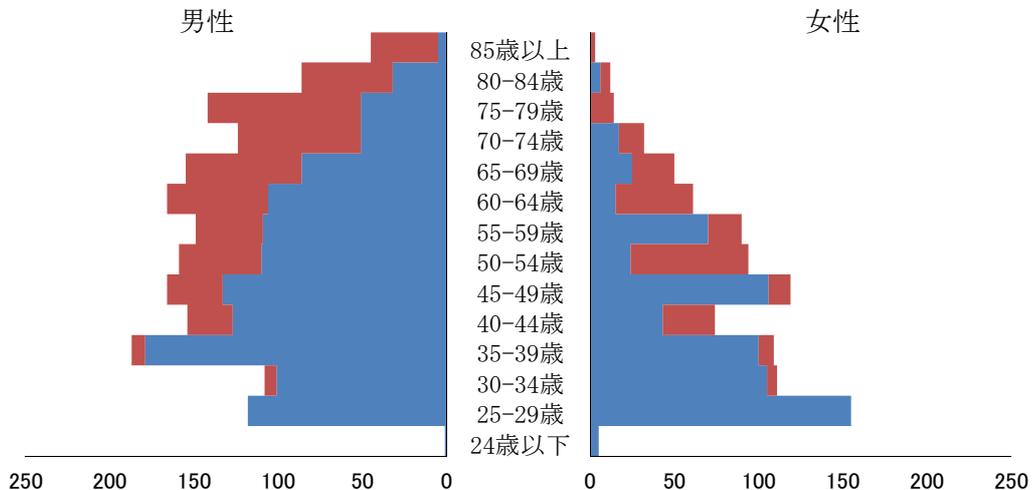
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

松山医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	646,055	610,640	566,068	-79,987	-12%	-35,415	-5%	-44,572	-7%	
医療施設勤務医師数	2,180	2,504	2,742	562	26%	324	15%	238	10%	
人口10万対	337.4	410.1	484.4	147.0	44%	72.6	22%	74.3	18%	
男性医師数	1,738	1,881	1,870	132	8%	143	8%	-11	-1%	
人口10万対	269.0	308.0	330.3	61.3	23%	39.0	15%	22.3	7%	
女性医師数	442	634	915	473	107%	192	43%	281	44%	
人口10万対	68.4	103.8	161.6	93.2	136%	35.4	52%	57.8	56%	
病院勤務医師数	1,493	1,695	1,848	355	24%	202	14%	153	9%	
人口10万対	231.1	277.6	326.5	95.4	41%	46.5	20%	48.9	18%	
診療所勤務医師数	687	768	782	95	14%	81	12%	14	2%	
人口10万対	106.3	125.8	138.1	31.8	30%	19.4	18%	12.4	10%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	443	469	482	39	9%	26	6%	13	3%
	35-49歳	718	736	818	100	14%	18	3%	82	11%
	50-64歳	715	749	718	3	0%	34	5%	-31	-4%
	65歳以上	304	550	724	420	138%	246	81%	174	32%
	75歳以上(再掲)	110	180	326	216	196%	70	64%	146	81%
男性	24-34歳	278	294	227	-51	-18%	16	6%	-67	-23%
	35-49歳	532	484	521	-11	-2%	-48	-9%	37	8%
	50-64歳	646	607	507	-139	-22%	-39	-6%	-100	-16%
	65歳以上	282	496	615	333	118%	214	76%	119	24%
	75歳以上(再掲)	106	167	293	187	176%	61	58%	126	75%
女性	24-34歳	165	175	270	105	64%	10	6%	95	54%
	35-49歳	186	258	305	119	64%	72	39%	47	18%
	50-64歳	69	142	217	148	214%	73	106%	75	53%
	65歳以上	22	59	123	101	459%	37	168%	64	108%
	75歳以上(再掲)	4	16	36	32	800%	12	300%	20	125%
病院	24-34歳	431	457	469	38	9%	26	6%	12	3%
	35-49歳	582	607	673	91	16%	25	4%	66	11%
	50-64歳	397	455	439	42	11%	58	15%	-16	-4%
	65歳以上	83	176	267	184	222%	93	112%	91	52%
	75歳以上(再掲)	30	40	98	68	227%	10	33%	58	145%
診療所	24-34歳	12	12	13	1	8%	0	0%	1	8%
	35-49歳	136	117	120	-16	-12%	-19	-14%	3	3%
	50-64歳	318	282	262	-56	-18%	-36	-11%	-20	-7%
	65歳以上	221	357	387	166	75%	136	62%	30	8%
	75歳以上(再掲)	80	144	208	128	160%	64	80%	64	44%
	85歳以上(再掲)	20	24	43	23	115%	4	20%	19	79%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

八幡浜・大洲医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は42,423人(-23%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は35人(-11%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は188人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は15%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

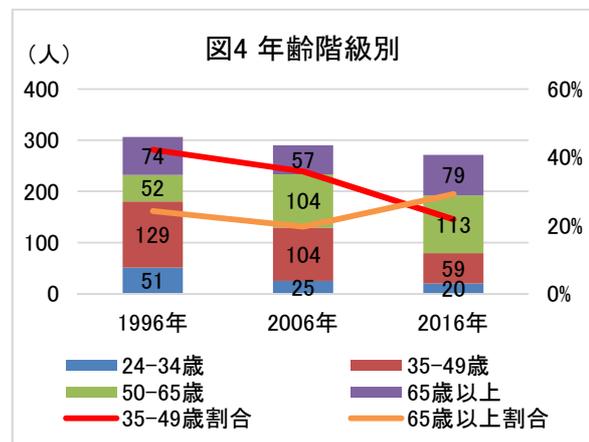
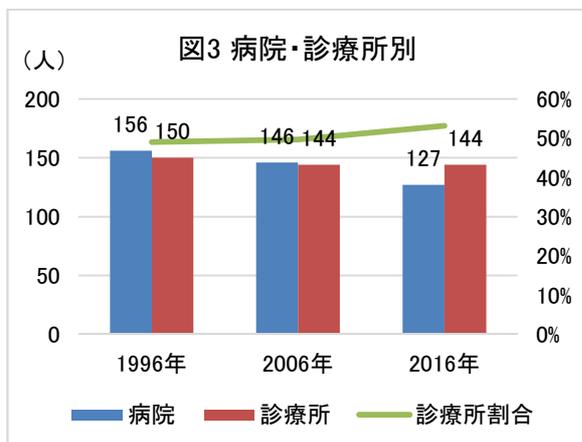
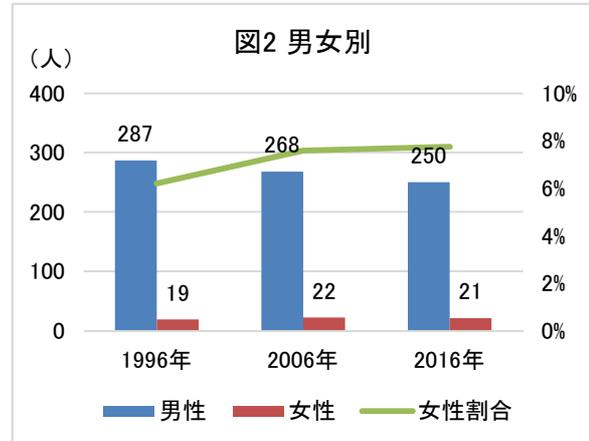
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて37人(-13%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(11%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は8%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて29人(-19%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に6人(-4%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は53%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は70人(-54%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて5人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年24%、2016年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

八幡浜・大洲医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	186,747	168,713	144,324	-42,423	-23%	-18,034	-10%	-24,389	-14%	
総医師数	312	305	283	-29	-9%	-7	-2%	-22	-7%	
人口10万対	167.1	180.8	196.1	29.0	17%	13.7	8%	15.3	8%	
医療施設勤務医師数	306	290	271	-35	-11%	-16	-5%	-19	-7%	
人口10万対	163.9	171.9	187.8	23.9	15%	8.0	5%	15.9	9%	
男性医師数	287	268	250	-37	-13%	-19	-7%	-18	-7%	
人口10万対	153.7	158.8	173.2	19.5	13%	5.2	3%	14.4	9%	
女性医師数	19	22	21	2	11%	3	16%	-1	-5%	
人口10万対	10.2	13.0	14.6	4.4	43%	2.9	28%	1.5	12%	
病院勤務医師数	156	146	127	-29	-19%	-10	-6%	-19	-13%	
人口10万対	83.5	86.5	88.0	4.5	5%	3.0	4%	1.5	2%	
診療所勤務医師数	150	144	144	-6	-4%	-6	-4%	0	0%	
人口10万対	80.3	85.4	99.8	19.5	24%	5.0	6%	14.4	17%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.5	53.6	57.4	6.8	14%	3.1	6%	3.8	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	51	25	20	-31	-61%	-26	-51%	-5	-20%
	35-49歳	129	104	59	-70	-54%	-25	-19%	-45	-43%
	50-64歳	52	104	113	61	117%	52	100%	9	9%
	65歳以上	74	57	79	5	7%	-17	-23%	22	39%
	75歳以上(再掲)	29	31	24	-5	-17%	2	7%	-7	-23%
男性	24-34歳	48	19	15	-33	-69%	-29	-60%	-4	-21%
	35-49歳	119	95	52	-67	-56%	-24	-20%	-43	-45%
	50-64歳	51	98	107	56	110%	47	92%	9	9%
	65歳以上	69	56	76	7	10%	-13	-19%	20	36%
	75歳以上(再掲)	24	31	24	0	0%	7	29%	-7	-23%
女性	24-34歳	3	6	5	2	67%	3	100%	-1	-17%
	35-49歳	10	9	7	-3	-30%	-1	-10%	-2	-22%
	50-64歳	1	6	6	5	500%	5	500%	0	0%
	65歳以上	5	1	3	-2	-40%	-4	-80%	2	200%
	75歳以上(再掲)	5	0	0	-5	-100%	-5	-100%	0	
病院	24-34歳	47	22	17	-30	-64%	-25	-53%	-5	-23%
	35-49歳	79	74	45	-34	-43%	-5	-6%	-29	-39%
	50-64歳	23	35	42	19	83%	12	52%	7	20%
	65歳以上	7	15	23	16	229%	8	114%	8	53%
	75歳以上(再掲)	1	5	9	8	800%	4	400%	4	80%
診療所	24-34歳	4	3	3	-1	-25%	-1	-25%	0	0%
	35-49歳	50	30	14	-36	-72%	-20	-40%	-16	-53%
	50-64歳	29	69	71	42	145%	40	138%	2	3%
	65歳以上	67	42	56	-11	-16%	-25	-37%	14	33%
	75歳以上(再掲)	28	26	15	-13	-46%	-2	-7%	-11	-42%
	85歳以上(再掲)	5	3	6	1	20%	-2	-40%	3	100%

八幡浜・大洲医療圏

＜医師数の推移＞

八幡浜・大洲医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、泌尿器科であり、少ない診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、心臓血管外科、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、放射線科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	306	163.9	48	290	171.9	46	271	187.8	44	-35	-11%	23.9	15%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	149	79.8	51	140	83.0	52	130	90.1	50	-19	-13%	10.3	13%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	12	6.4	40	12	7.1	40	12	8.3	41	0	0%	1.9	29%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	14	7.5	49	18	10.7	52	17	11.8	49	3	21%	4.3	57%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	41	22.0	51	34	20.2	53	25	17.3	48	-16	-39%	-4.6	-21%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	1.1	46	1	0.6	42	0	0.0	36	-2	-100%	-1.1	-100%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	8	4.3	49	7	4.1	47	8	5.5	49	0	0%	1.3	29%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	23	12.3	48	23	13.6	48	25	17.3	51	2	9%	5.0	41%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	2.7	42	6	3.6	42	6	4.2	42	1	20%	1.5	55%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	13	7.0	46	12	7.1	44	10	6.9	42	-3	-23%	-0.0	0%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	3.7	41	8	4.7	43	10	6.9	49	3	43%	3.2	85%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	9	4.8	53	11	6.5	58	11	7.6	58	2	22%	2.8	58%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	14	7.5	44	9	5.3	40	7	4.9	38	-7	-50%	-2.6	-35%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	3	2.1	51	3	3	2.1	2.1
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.5	41	3	1.8	43	2	1.4	40	1	100%	0.9	159%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	2	1.2	39	2	1.4	37	2	2	1.4	1.4
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				3	1.8	39	0	0.0	36	0	-100%	-1.8	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	8	4.3	50	1	0.6	41	3	2.1	41	-5	-63%	-2.2	-51%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

八幡浜・大洲医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は41,457人(-29%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は63人(-23%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は202人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は8%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

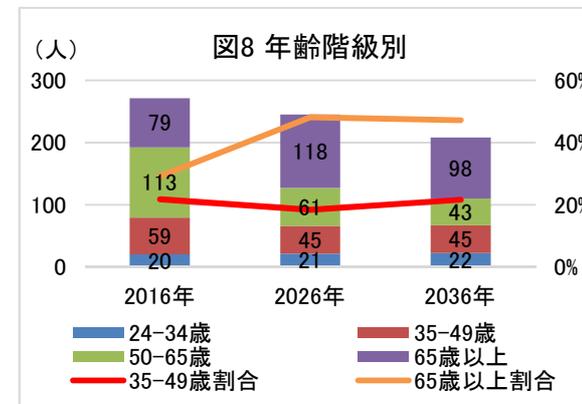
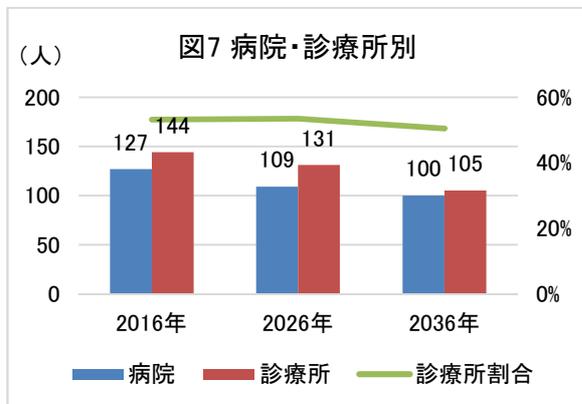
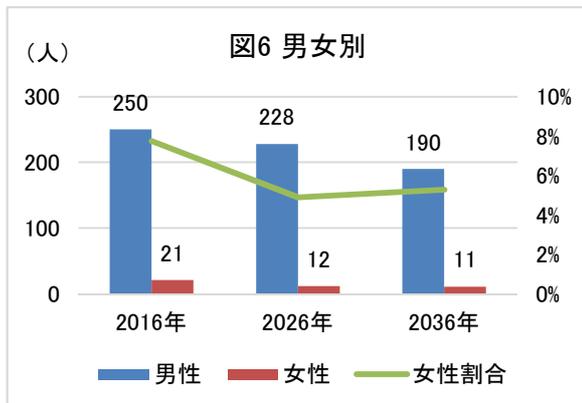
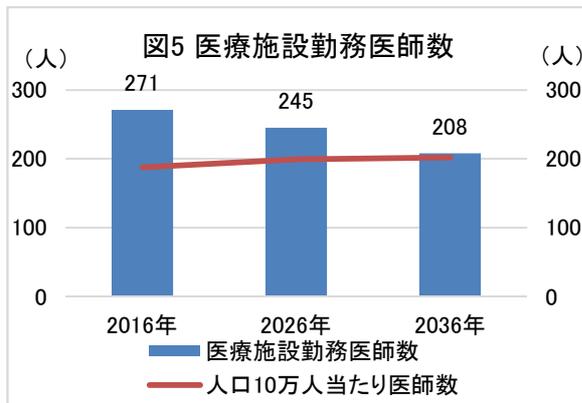
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて60人(-24%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に10人(-48%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は5%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて27人(-21%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に39人(-27%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は50%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は14人(-24%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて19人(24%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年29%、2036年47%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



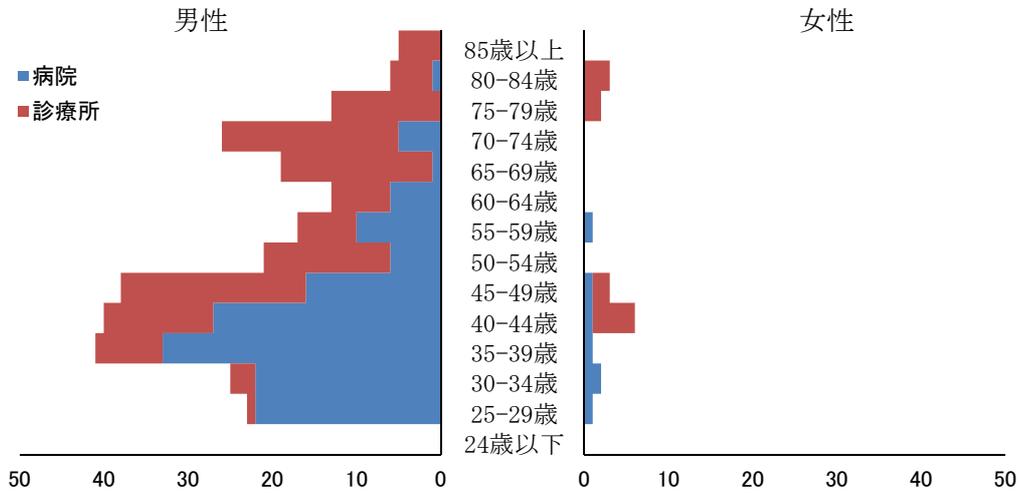
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

八幡浜・大洲医療圏

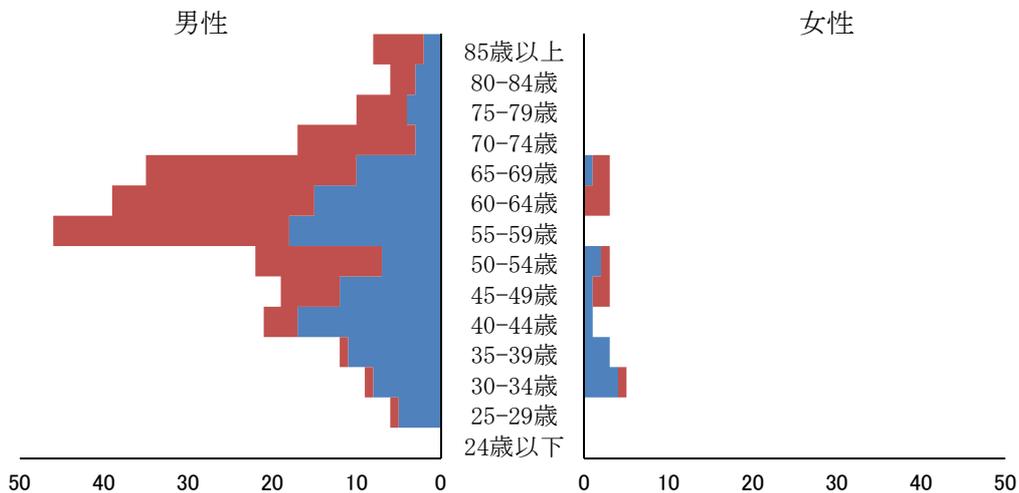
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

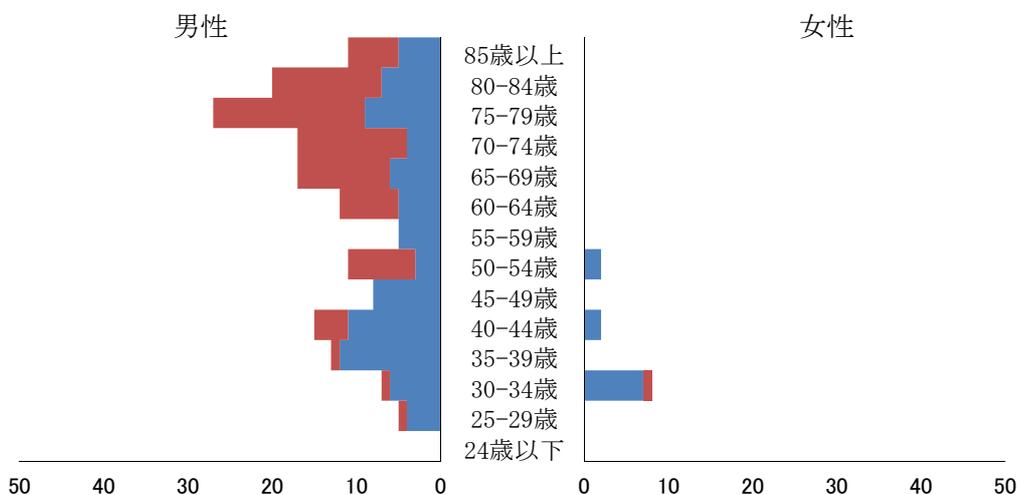
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

八幡浜・大洲医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	144,324	123,084	102,867	-41,457	-29%	-21,240	-15%	-20,217	-16%	
医療施設勤務医師数	271	245	208	-63	-23%	-26	-10%	-37	-15%	
人口10万対	187.8	199.1	202.2	14.4	8%	11.3	6%	3.2	2%	
男性医師数	250	228	190	-60	-24%	-22	-9%	-38	-17%	
人口10万対	173.2	185.2	184.7	11.5	7%	12.0	7%	-0.5	0%	
女性医師数	21	12	11	-10	-48%	-9	-43%	-1	-8%	
人口10万対	14.6	9.7	10.7	-3.9	-27%	-4.8	-33%	0.9	10%	
病院勤務医師数	127	109	100	-27	-21%	-18	-14%	-9	-8%	
人口10万対	88.0	88.6	97.2	9.2	10%	0.6	1%	8.7	10%	
診療所勤務医師数	144	131	105	-39	-27%	-13	-9%	-26	-20%	
人口10万対	99.8	106.4	102.1	2.3	2%	6.7	7%	-4.4	-4%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	20	21	22	2	10%	1	5%	1	5%
	35-49歳	59	45	45	-14	-24%	-14	-24%	0	0%
	50-64歳	113	61	43	-70	-62%	-52	-46%	-18	-30%
	65歳以上	79	118	98	19	24%	39	49%	-20	-17%
	75歳以上(再掲)	24	39	59	35	146%	15	63%	20	51%
男性	24-34歳	15	16	12	-3	-20%	1	7%	-4	-25%
	35-49歳	52	42	47	-5	-10%	-10	-19%	5	12%
	50-64歳	107	54	38	-69	-64%	-53	-50%	-16	-30%
	65歳以上	76	116	93	17	22%	40	53%	-23	-20%
	75歳以上(再掲)	24	39	59	35	146%	15	63%	20	51%
女性	24-34歳	5	5	8	3	60%	0	0%	3	60%
	35-49歳	7	3	1	-6	-86%	-4	-57%	-2	-67%
	50-64歳	6	4	2	-4	-67%	-2	-33%	-2	-50%
	65歳以上	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	17	17	18	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	45	33	32	-13	-29%	-12	-27%	-1	-3%
	50-64歳	42	23	18	-24	-57%	-19	-45%	-5	-22%
	65歳以上	23	36	32	9	39%	13	57%	-4	-11%
	75歳以上(再掲)	9	13	21	12	133%	4	44%	8	62%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	14	13	13	-1	-7%	-1	-7%	0	0%
	50-64歳	71	35	25	-46	-65%	-36	-51%	-10	-29%
	65歳以上	56	80	64	8	14%	24	43%	-16	-20%
	75歳以上(再掲)	15	26	36	21	140%	11	73%	10	38%
	85歳以上(再掲)	6	3	6	0	0%	-3	-50%	3	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇和島医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は36,477人(-24%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は4人(-2%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は225人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

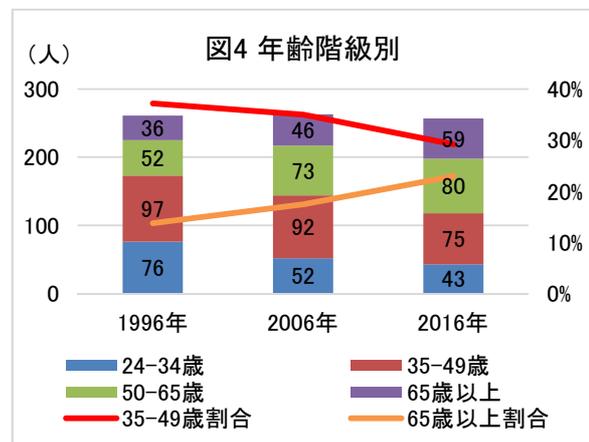
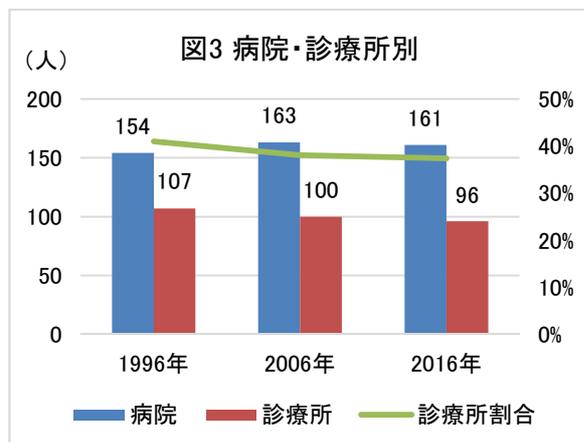
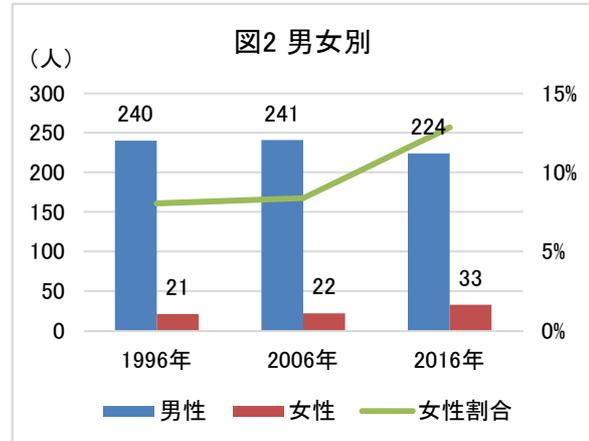
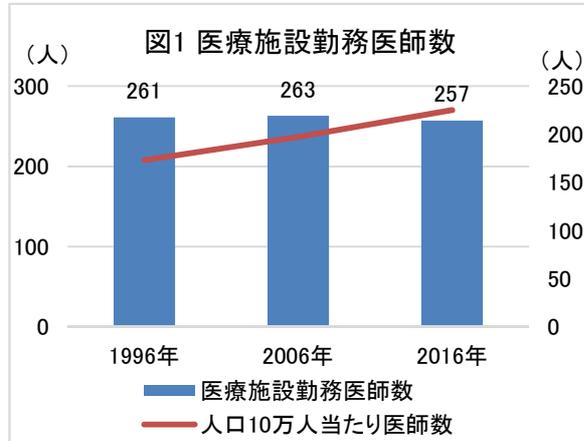
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて16人(-7%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に12人(57%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて7人(5%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に11人(-10%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は37%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は22人(-23%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて23人(64%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年23%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

宇和島医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	150,621	133,202	114,144	-36,477	-24%	-17,419	-12%	-19,058	-14%	
総医師数	269	269	264	-5	-2%	0	0%	-5	-2%	
人口10万対	178.6	201.9	231.3	52.7	30%	23.4	13%	29.3	15%	
医療施設勤務医師数	261	263	257	-4	-2%	2	1%	-6	-2%	
人口10万対	173.3	197.4	225.2	51.9	30%	24.2	14%	27.7	14%	
男性医師数	240	241	224	-16	-7%	1	0%	-17	-7%	
人口10万対	159.3	180.9	196.2	36.9	23%	21.6	14%	15.3	8%	
女性医師数	21	22	33	12	57%	1	5%	11	50%	
人口10万対	13.9	16.5	28.9	15.0	107%	2.6	18%	12.4	75%	
病院勤務医師数	154	163	161	7	5%	9	6%	-2	-1%	
人口10万対	102.2	122.4	141.0	38.8	38%	20.1	20%	18.7	15%	
診療所勤務医師数	107	100	96	-11	-10%	-7	-7%	-4	-4%	
人口10万対	71.0	75.1	84.1	13.1	18%	4.0	6%	9.0	12%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.9	49.2	53.0	7.1	15%	3.3	7%	3.7	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	76	52	43	-33	-43%	-24	-32%	-9	-17%
	35-49歳	97	92	75	-22	-23%	-5	-5%	-17	-18%
	50-64歳	52	73	80	28	54%	21	40%	7	10%
	65歳以上	36	46	59	23	64%	10	28%	13	28%
	75歳以上(再掲)	11	18	27	16	145%	7	64%	9	50%
男性	24-34歳	66	43	32	-34	-52%	-23	-35%	-11	-26%
	35-49歳	92	83	63	-29	-32%	-9	-10%	-20	-24%
	50-64歳	50	70	72	22	44%	20	40%	2	3%
	65歳以上	32	45	57	25	78%	13	41%	12	27%
	75歳以上(再掲)	10	17	27	17	170%	7	70%	10	59%
女性	24-34歳	10	9	11	1	10%	-1	-10%	2	22%
	35-49歳	5	9	12	7	140%	4	80%	3	33%
	50-64歳	2	3	8	6	300%	1	50%	5	167%
	65歳以上	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	70	48	40	-30	-43%	-22	-31%	-8	-17%
	35-49歳	61	73	60	-1	-2%	12	20%	-13	-18%
	50-64歳	18	28	43	25	139%	10	56%	15	54%
	65歳以上	5	14	18	13	260%	9	180%	4	29%
	75歳以上(再掲)	3	4	6	3	100%	1	33%	2	50%
診療所	24-34歳	6	4	3	-3	-50%	-2	-33%	-1	-25%
	35-49歳	36	19	15	-21	-58%	-17	-47%	-4	-21%
	50-64歳	34	45	37	3	9%	11	32%	-8	-18%
	65歳以上	31	32	41	10	32%	1	3%	9	28%
	75歳以上(再掲)	8	14	21	13	163%	6	75%	7	50%
	85歳以上(再掲)	1	1	8	7	700%	0	0%	7	700%

宇和島医療圏

＜医師数の推移＞

宇和島医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、整形外科、泌尿器科であり、少ない診療科は、精神科、小児外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、リハビリテーション科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、放射線科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	261	173.3	49	263	197.4	49	257	225.2	48	-4	-2%	51.9	30%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	102	67.7	48	95	71.3	48	89	78.0	46	-13	-13%	10.3	15%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	11	7.3	42	16	12.0	51	15	13.1	50	4	36%	5.8	80%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	10	6.6	47	12	9.0	48	9	7.9	42	-1	-10%	1.2	19%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	39	25.9	56	36	27.0	63	28	24.5	58	-11	-28%	-1.4	-5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.7	44	1	0.8	43	2	1.8	46	1	100%	1.1	164%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	8	5.3	53	8	6.0	55	5	4.4	45	-3	-38%	-0.9	-18%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	31	20.6	65	29	21.8	64	30	26.3	68	-1	-3%	5.7	28%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.8	45	1	0.9	43	1	0	0.9	0.9
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	7	4.6	48	8	6.0	50	6	5.3	45	-1	-14%	0.6	13%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	9	6.0	44	11	8.3	47	11	9.6	48	2	22%	3.7	61%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	8	5.3	45	6	4.5	42	7	6.1	46	-1	-13%	0.8	15%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	10	6.6	61	10	7.5	62	12	10.5	70	2	20%	3.9	58%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	10	6.6	42	10	7.5	46	11	9.6	48	1	10%	3.0	45%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.8	44	1	0.9	43	1	0	0.9	0.9
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	2.7	48	5	3.8	50	6	5.3	50	2	50%	2.6	98%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	8	5.3	54	6	4.5	49	8	7.0	50	0	0%	1.7	32%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				6	4.5	42	11	9.6	46	11	83%	5.1	114%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	2.0	45	2	1.5	43	5	4.4	45	2	67%	2.4	120%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

宇和島医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は33,095人(-29%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は24人(-9%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は287人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

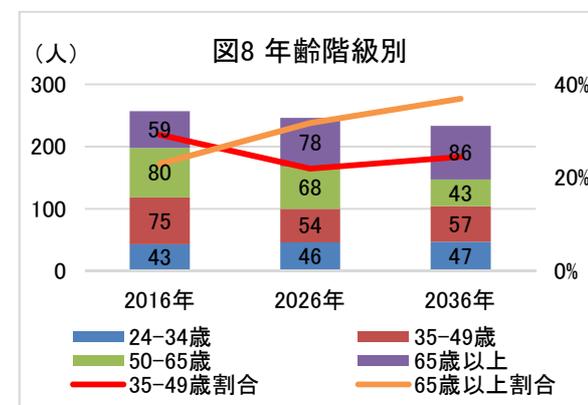
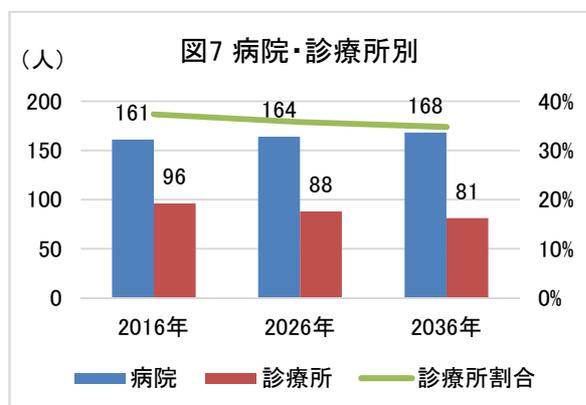
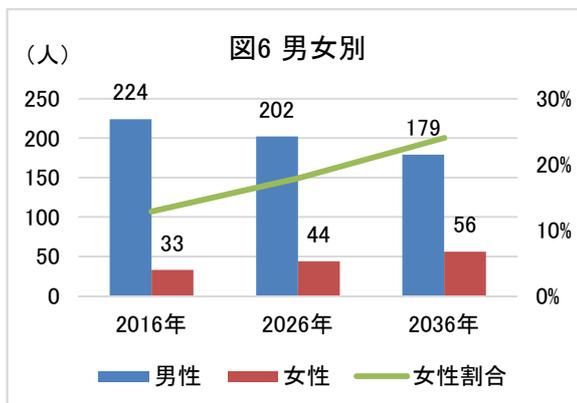
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて45人(-20%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に23人(70%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は24%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて7人(4%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に15人(-16%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は35%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は18人(-24%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて27人(46%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年23%、2036年37%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



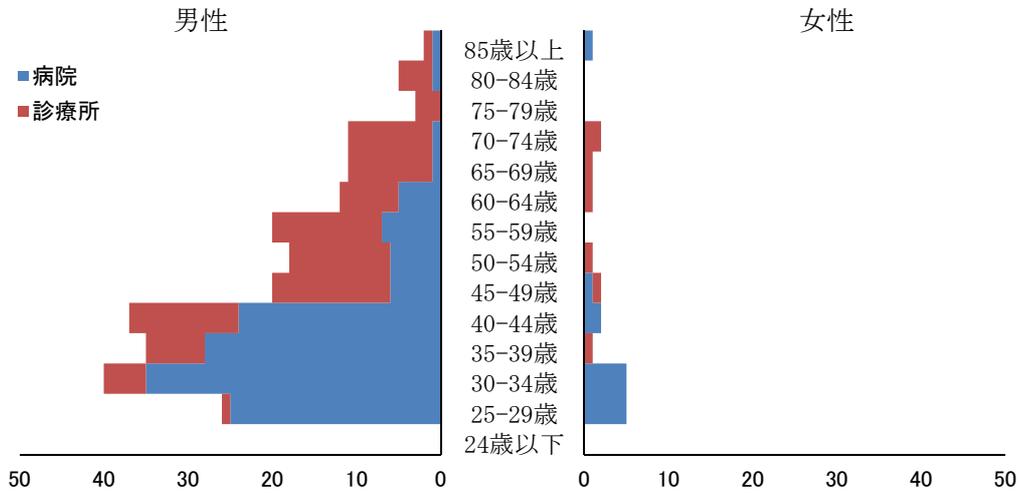
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇和島医療圏

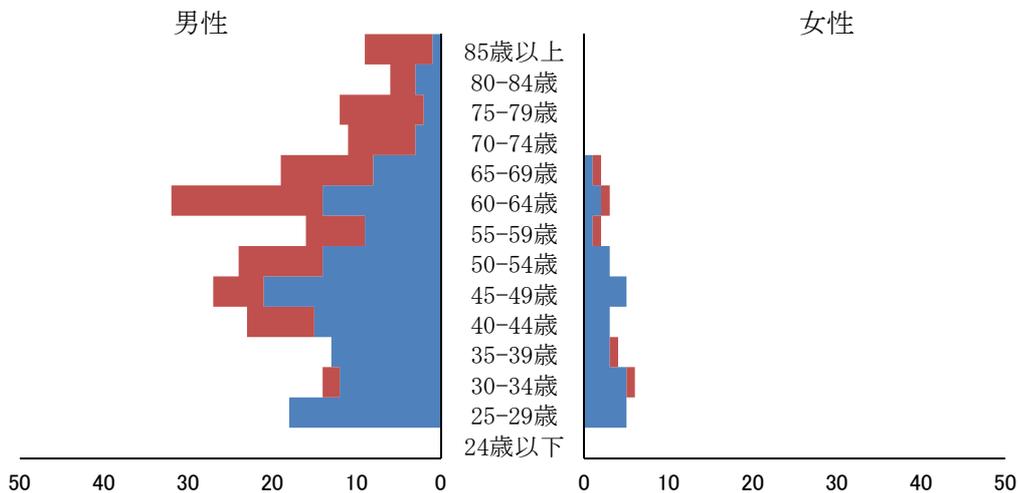
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

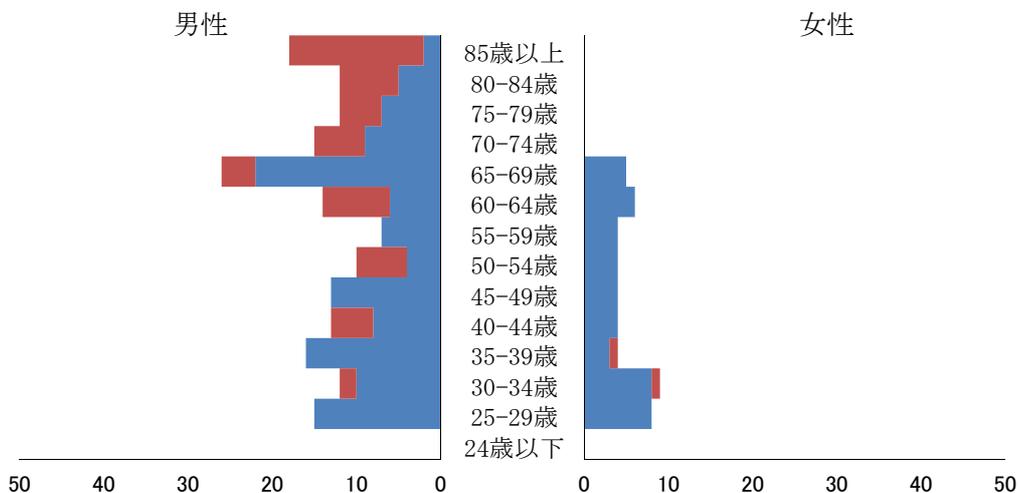
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇和島医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	114,144	97,647	81,049	-33,095	-29%	-16,497	-14%	-16,598	-17%	
医療施設勤務医師数	257	246	233	-24	-9%	-11	-4%	-13	-5%	
人口10万対	225.2	251.9	287.5	62.3	28%	26.8	12%	35.6	14%	
男性医師数	224	202	179	-45	-20%	-22	-10%	-23	-11%	
人口10万対	196.2	206.9	220.9	24.6	13%	10.6	5%	14.0	7%	
女性医師数	33	44	56	23	70%	11	33%	12	27%	
人口10万対	28.9	45.1	69.1	40.2	139%	16.1	56%	24.0	53%	
病院勤務医師数	161	164	168	7	4%	3	2%	4	2%	
人口10万対	141.0	168.0	207.3	66.2	47%	26.9	19%	39.3	23%	
診療所勤務医師数	96	88	81	-15	-16%	-8	-8%	-7	-8%	
人口10万対	84.1	90.1	99.9	15.8	19%	6.0	7%	9.8	11%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	43	46	47	4	9%	3	7%	1	2%
	35-49歳	75	54	57	-18	-24%	-21	-28%	3	6%
	50-64歳	80	68	43	-37	-46%	-12	-15%	-25	-37%
	65歳以上	59	78	86	27	46%	19	32%	8	10%
	75歳以上(再掲)	27	35	43	16	59%	8	30%	8	23%
男性	24-34歳	32	34	26	-6	-19%	2	6%	-8	-24%
	35-49歳	63	40	43	-20	-32%	-23	-37%	3	8%
	50-64歳	72	56	32	-40	-56%	-16	-22%	-24	-43%
	65歳以上	57	72	78	21	37%	15	26%	6	8%
	75歳以上(再掲)	27	33	42	15	56%	6	22%	9	27%
女性	24-34歳	11	11	18	7	64%	0	0%	7	64%
	35-49歳	12	14	14	2	17%	2	17%	0	0%
	50-64歳	8	17	19	11	138%	9	113%	2	12%
	65歳以上	2	2	5	3	150%	0	0%	3	150%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	40	42	43	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	60	44	47	-13	-22%	-16	-27%	3	7%
	50-64歳	43	42	25	-18	-42%	-1	-2%	-17	-40%
	65歳以上	18	36	53	35	194%	18	100%	17	47%
	75歳以上(再掲)	6	9	16	10	167%	3	50%	7	78%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	15	15	15	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	37	24	23	-14	-38%	-13	-35%	-1	-4%
	65歳以上	41	46	40	-1	-2%	5	12%	-6	-13%
	75歳以上(再掲)	21	26	28	7	33%	5	24%	2	8%
	85歳以上(再掲)	8	12	15	7	88%	4	50%	3	25%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)